



平成30年9月28日
附属病院総務課
附属市民総合医療センター総務課

平成29年度の医療安全管理の取組について

公立大学法人横浜市立大学附属病院（金沢区福浦 3-9 病院長 ^{あいほら}相原 ^{みちこ}道子 病床数 674 床）及び附属市民総合医療センター（南区浦舟町 4-57 病院長 ^{ごとう}後藤 ^{たかひさ}隆久 病床数 726 床）の、平成29年度における医療事故等・インシデントの件数及び医療安全の向上に向けた取組について、お知らせします。

（※医療事故、インシデントの定義については別添資料「平成29年度の医療安全管理の取組について」をご覧ください。）

1 即時公表となった医療事故等の件数（過去5年間）

横浜市立大学附属2病院医療事故公表基準に基づき、医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、それが死因となった場合、もしくは「永続的な障害や後遺症が残る」など、患者さんに相当の有害な結果を生じた場合には即時に公表することとしております。

平成29年度は、該当する案件が1件あり、既に公表を行っております。

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
附属病院	1 件(※1)	0 件	0 件	0 件	0 件
センター病院	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件(※2)

(※1)H25.4.30（記者発表）：栄養チューブの詰まりを開通するために濃度の高い酢酸液を注入したことによる医療事故について

(※2)H29.10.30（記者発表）：コンピュータ断層撮影（CT）検査結果の情報共有不足により癌の適切な治療を逸した医療事故について

2 一括公表となった医療事故等の件数（過去5年間）

横浜市立大学附属2病院医療事故公表基準に基づき、医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、濃厚な処置や治療を要した場合には、一括して個別事例を公表することとしております。

平成29年度は、該当する案件はありませんでした。

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
附属病院	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件
センター病院	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

3 インシデント報告件数（過去5年間）

病院職員の医療安全に対する意識の高まりにより、インシデント報告件数は増加しています。附属2病院では共に薬剤に関する事例が最も多く、件数全体の1/3を占めており、次いでドレーン・チューブに関する事例が多く報告されました。

インシデント事例は、内容の検討を通じて病院内への注意喚起等を行っているほか、医療に係る事故の発生の予防及び再発の防止に資すると考えられる警鐘的な事例については、日本医療機能評価機構への報告を通じて公表しています。

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
附属病院	5,521件	5,490件	5,496件	5,008件	5,447件
センター病院	7,668件	7,788件	7,671件	8,029件	8,689件

4 主な医療安全の取組について

(1) 附属病院

①医療安全に資する診療内容のモニタリングの実施

手術、肺塞栓症予防、中心静脈穿刺、病理結果確認、転倒転落等に関する12指標を毎月算出し、医療安全に資するモニタリングを開始しました。その結果は安全管理対策委員会に報告し、必要に応じて診療科等にフィードバックしています。

②患者確認強化月間の実施

リスクマネジャーのグループワークにおいて患者確認強化月間（1月）の取組（職員への周知や患者さんへの告知など）を企画・実施しました。また、院内ラウンドや患者さんへのヒアリングにより患者確認行為の実施状況を調査しました。

(2) 附属市民総合医療センター

①RRS（Rapid Response System）稼働開始

院内急変の発生を未然に防ぎ、事案に対する適切な処置を早期に行うことを目的としてRRSの稼働を開始しました。重症対応を専門とする医師、看護師、薬剤師からなるRRT（Rapid Response Team）が現場からの要請に対応します。平成29年10月2日に一部曜日・一部病棟から開始して、全病棟・全日稼働に向けて徐々に拡大しています。

②外来基本カードクリアファイルの改良

これまで患者さんが院内で持ち運ぶ外来基本カードを入れるために使用しているクリアファイルは、個人情報保護のために全面が濃緑色で患者名も認識しづらいデザインでした。外来基本カードの渡し間違いによる個人情報漏洩を防止する目的で、クリアファイルの一部分を透明にして患者氏名の視認性を上げることで、患者さんも医療者も間違いにくく、また渡し間違いに気付きやすいものとなりました。

お問い合わせ先		
附属病院 総務課長	増田 政博	Tel 045-787-2804
附属市民総合医療センター 総務課長	齋藤 龍也	Tel 045-253-5302

平成29年度の医療安全管理の取組について

平成30年9月28日

公立大学法人横浜市立大学

附属病院

附属市民総合医療センター

目 次

■ 医療事故公表判定基準等	1
I インシデント報告の状況	3
II 入院患者アンケート調査結果	5
III 主な改善検討事例	7

(参考) 資料中での病院名の正式名称は次のとおりです。

附属病院 : 横浜市立大学附属病院

センター病院 : 横浜市立大学附属市民総合医療センター

医療事故の公表について

平成13年 2月16日 制定

平成29年 9月27日 改正

横浜市立大学附属病院及び同市民総合医療センター（以下「附属2病院」といいます。）は、平成11年1月の患者取り違え事故をはじめ、平成25年4月の酢酸の誤注入事故など、これまでに引き起こした医療事故の反省の上に立って、病院を挙げて医療安全管理対策を推進してきました。

横浜市立大学では、医療事故が発生した際には、その情報を公表することによって病院運営の透明性を高めることが、信頼を回復するために重要であると考え、平成12年8月に医療事故公表基準作成特別委員会を設置し、附属2病院における医療事故の公表についての考え方をとりまとめました。それに基づき、平成13年度からは、事務系責任職、附属2病院統括安全管理者、外部有識者等で構成する「医療事故公表判定委員会」にて、医療事故の公表についての審議を行い、公表を行ってきました。

その後、医療法改正による院内報告制度の義務化、日本医療機能評価機構が行う医療事故情報収集等事業の整備、医療事故調査制度の開始などにより、本学が独自の基準を持って医療事故の公表の判断を行う必要性は徐々に無くなってきました。そのため、平成28年度をもって医療事故公表判定委員会は解消し、附属2病院は「国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針」に準拠した基準に基づき、院内で公表に関する判断を行うこととなりました。その上で、院内での公表判断の適切性を、新たに設置した外部有識者等による「横浜市立大学附属2病院監査委員会」が監査することとしました。

1 医療事故の公表の意義

医療事故を公表することには、次のような意義があるものと考えます。

- (1) 医療事故の事実や改善策を院内だけでなく他の医療機関と共有することにより、類似の医療事故の再発を広く防止することができる。
- (2) 適切な判断基準を持って公表を行うことは、医療の透明性を高め、市民からの信頼性の向上を図ることができる。

2 用語の定義

本報告において使用する用語の定義は、次のとおりです。

- (1) 医療事故
 - ① 誤った医療又は管理を行ったことが明らかであり、その行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例。
 - ② 誤った医療又は管理を行ったことは明らかでないが、行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例（行った医療又は管理に起因すると疑われるものを含み、当該事例の発生を予期しなかったものに限る）。

(2) インシデント事例

- ① 医療に誤りがあったが、患者に実施される前に発見された事例。
- ② 誤った医療が実施されたが、患者への影響が認められなかった事例又は軽微な処置・治療を要した事例。ただし、軽微な処置・治療とは、消毒、湿布、鎮痛剤投与等とする。
- ③ 誤った医療が実施されたが、患者への影響が不明な事例。

3 医療事故の公表基準

附属2病院は、次の基準該当する医療事故が発生した場合には、患者さんと御家族の同意のもとに、これを公表します。

- (1) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、それが死因となった場合、若しくは「永続的な障害や後遺症が残る」など、患者さんに相当の有害な結果を生じた場合には即時に公表する。
- (2) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、濃厚な処置や治療を要した場合には、一括して個別事例を公表する。

上記以外の医療事故は公益財団法人日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。なお、インシデント事例は包括した形で件数等を一括して公表し、原則として個別事例は公表しませんが、医療に係る事故の発生の予防及び再発の防止に資すると考えられる警鐘的な事例は日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。

4 医療事故の公表の判断・判定について

医療事故の公表の判断・判定に関しては、上記の基準をもとに、各病院における会議体で検討し、最終的に病院長が判断します。附属病院では院内医療事故会議（事例検証会議）、センター病院では院内事例検証会議にて検討を行っています。

なお、これらの会議による検討経過、病院長の判断等の一連の事務については外部有識者等による「横浜市立大学附属2病院監査委員会」の監査を受けることとなります。

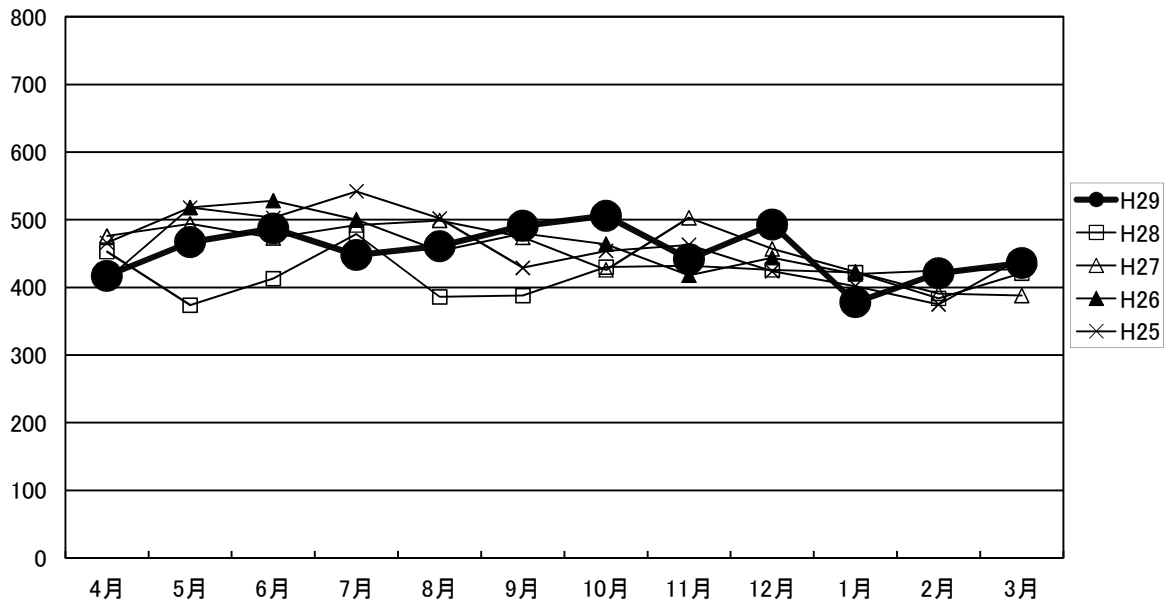
5 公表及び公表内容についての患者さん及び御家族の同意について

医療事故を報道機関等へ公表する際には、個人情報保護の観点から「報道機関等への公表について」による確認を行います。

I インシデント報告の状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

1 附属病院

(1) インシデント報告の月別件数



(2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数		月平均		構成比		提出率		職員数	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
医師	292	202	24.3	16.8	5.4%	4.0%	8.9%	6.6%	274	255
看護師	4,681	4,351	390.1	362.6	85.9%	86.9%	52.1%	50.7%	749	715
コ・メディカル	461	429	38.4	35.8	8.5%	8.6%	24.9%	19.1%	154	187
事務・その他	13	26	1.1	2.2	0.2%	0.5%	1.3%	3.4%	84	64
合計	5,447	5,008	453.9	417.3	100.0%	100.0%	36.0%	34.2%	1,261	1,221

※ 職員数は29年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

(3) インシデント報告の事象別内訳

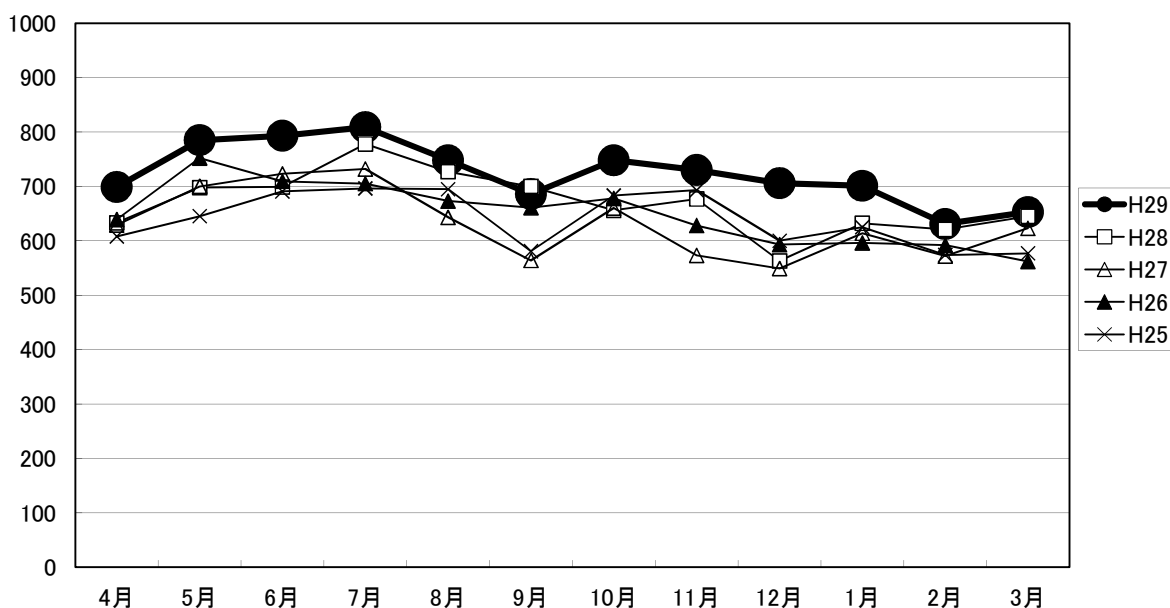
事象	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
薬剤	1,857	1,724	154.8	143.7	34.1%	35.1%
輸血	62	56	5.2	4.7	1.1%	1.3%
治療・処置	289	203	24.1	16.9	5.3%	5.2%
医療機器等	187	166	15.6	13.8	3.4%	3.7%
ドレーン・チューブ	863	918	71.9	76.5	15.8%	17.7%
検査	492	509	41.0	42.4	9.0%	10.3%
療養上の世話	852	826	71.0	68.8	15.6%	14.0%
(うち転倒・転落)	456	445	38.0	37.1	8.4%	8.7%
その他	845	606	70.4	50.5	15.5%	12.7%
合計	5,447	5,008	453.9	417.3	100.0%	100.0%

(4) インシデント報告の場所別内訳

場所	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
病室	3,154	3,070	262.8	255.8	57.9%	55.5%
病棟処置室	50	42	4.2	3.5	0.9%	0.5%
廊下	142	94	11.8	7.8	2.6%	1.9%
トイレ	91	101	7.6	8.4	1.7%	2.1%
浴室	19	22	1.6	1.8	0.3%	0.5%
外来診察室・処置室	227	173	18.9	14.4	4.2%	5.0%
外来待合室	34	28	2.8	2.3	0.6%	0.6%
手術室	439	255	36.6	21.3	8.1%	7.8%
検査室	372	328	31.0	27.3	6.8%	5.3%
訓練室	7	11	0.6	0.9	0.1%	0.1%
薬剤部	103	76	8.6	6.3	1.9%	1.3%
ナースステーション	469	473	39.1	39.4	8.6%	9.8%
その他	340	335	28.3	27.9	6.2%	9.7%
合計	5,447	5,008	453.9	417.3	100.0%	100.0%

2 センター病院

(1) インシデント報告の月別件数



(2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数		月平均		構成比		提出率		職員数	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
医師	325	306	27.1	25.5	3.7%	3.8%	14.6%	13.7%	186	187
看護師	7,763	7,191	646.9	599.3	89.3%	89.6%	69.2%	65.0%	935	922
コ・メディカル	564	518	47.0	43.2	6.5%	6.5%	20.7%	21.4%	227	202
事務・その他	37	14	3.1	1.2	0.4%	0.2%	5.6%	2.0%	56	60
合計	8,689	8,029	724.1	669.1	99.9%	100.0%	51.6%	46.8%	1,402	1,349

※ 職員数は29年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

(3) インシデント報告の事象別内訳

事象	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
薬剤	3,129	3,064	260.8	255.3	36.0%	38.2%
輸血	64	45	5.3	3.8	0.7%	0.6%
治療・処置	586	499	48.8	41.6	6.7%	6.2%
医療機器等	321	225	26.8	18.8	3.7%	2.8%
ドレーン・チューブ	1,463	1,366	121.9	113.8	16.8%	17.0%
検査	736	664	61.3	55.3	8.5%	8.3%
療養上の世話	1,227	817	102.3	68.1	14.1%	10.2%
(うち転倒・転落)	499	529	41.6	44.1	5.7%	6.6%
その他	1,163	1,349	96.9	112.4	13.4%	16.8%
合計	8,689	8,029	724.1	669.1	100.0%	100.0%

(4) インシデント報告の場所別内訳

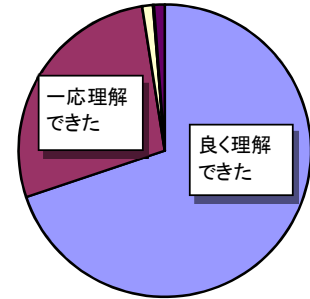
場所	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
病室	5,753	5,484	479.4	457.0	66.2%	68.3%
病棟処置室	46	51	3.8	4.3	0.5%	0.6%
廊下	113	83	9.4	6.9	1.3%	1.0%
トイレ	77	112	6.4	9.3	0.9%	1.4%
浴室	30	31	2.5	2.6	0.3%	0.4%
外来診察室・処置室	351	173	29.3	14.4	4.0%	2.2%
外来待合室	19	17	1.6	1.4	0.2%	0.2%
手術室	277	262	23.1	21.8	3.2%	3.3%
検査室	421	376	35.1	31.3	4.8%	4.7%
訓練室	16	11	1.3	0.9	0.2%	0.1%
薬剤部	83	92	6.9	7.7	1.0%	1.1%
ナースステーション	892	841	74.3	70.1	10.3%	10.5%
その他	611	496	50.9	41.3	7.0%	6.2%
合計	8,689	8,029	724.1	669.1	100.0%	100.0%

II 入院患者アンケート調査結果（平成29年4月～平成30年3月）

1 附属病院

設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

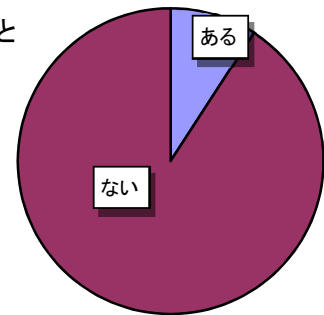
	29年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
良く理解できた	591	69.9%	68.1%
一応理解できた	234	27.7%	28.6%
余り理解できなかった	10	1.2%	0.3%
全く理解出来なかった	1	0.1%	0.3%
その他	10	1.2%	2.6%
合計	846	100.1%	100.0%



設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

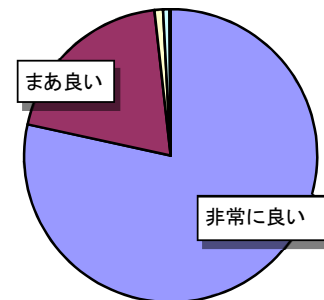
	29年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
ある(※)	77	9.1%	8.9%
ない	765	90.9%	91.1%
合計	842	100.0%	100.0%

(※) 代表的な事例：採血・点適時の医療従事者による技術不足、治療・検査・処置等に関する説明不足、院内設備や清掃に関する不満



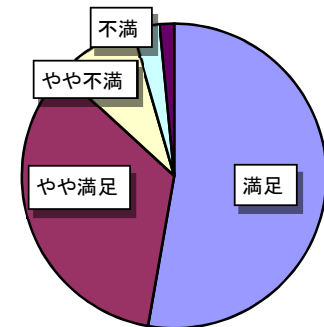
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	29年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
非常に良い	669	78.4%	77.6%
まあ良い	169	19.8%	20.1%
やや悪い	8	0.9%	1.2%
非常に悪い	6	0.7%	0.8%
分からない	1	0.1%	0.3%
合計	853	99.9%	100.0%



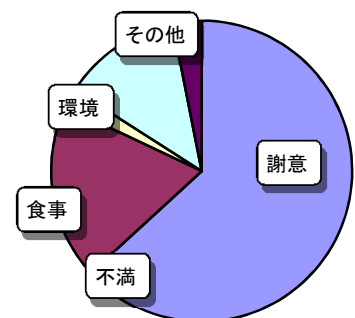
設問4 病室、トイレ、ディルーム、食事など療養環境について

	29年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
満足	449	52.8%	53.7%
やや満足	290	34.1%	34.4%
やや不満	74	8.7%	6.9%
不満	25	2.9%	3.1%
なんとも言えない	13	1.5%	1.9%
合計	851	100.0%	100.0%



設問5 その他の意見

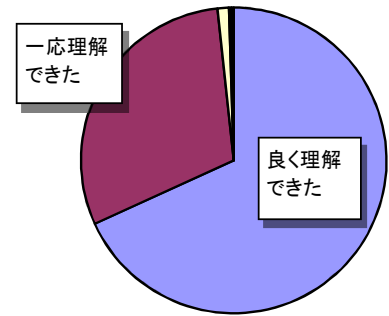
	29年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
医師、看護師等に対する謝意	693	63.2%	61.5%
医師、看護師等に対する不満	207	18.9%	20.3%
食事に関する要望	22	2.0%	2.3%
環境整備に関する要望	141	12.9%	12.7%
その他	34	3.1%	3.1%
合計	1,097	100.1%	100.0%



2 センター病院

設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

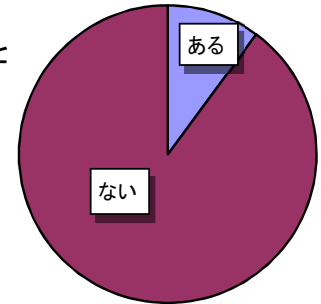
	29年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
良く理解できた	1,170	68.2%	69.9%
一応理解できた	517	30.1%	28.6%
余り理解できなかった	20	1.2%	1.2%
全く理解出来なかった	5	0.3%	0.1%
その他	4	0.2%	0.3%
合計	1,716	100.0%	100.0%



設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

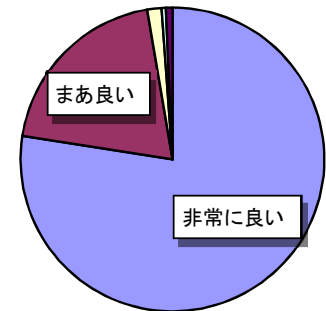
	29年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
ある(※)	160	10.1%	13.1%
ない	1,418	89.9%	86.9%
合計	1,578	100.0%	100.0%

(※)代表的な事例：点滴・注射における技術不足、手術や検査内容に関する説明不足等



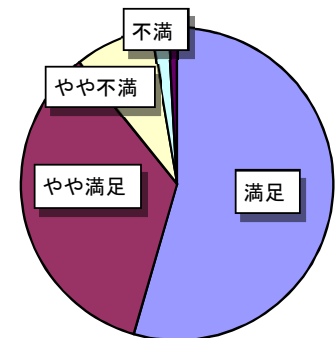
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	29年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
非常に良い	1,336	77.5%	76.9%
まあ良い	342	19.8%	20.6%
やや悪い	26	1.5%	1.6%
非常に悪い	8	0.5%	0.4%
分からない	12	0.8%	0.5%
合計	1,724	100.1%	100.0%



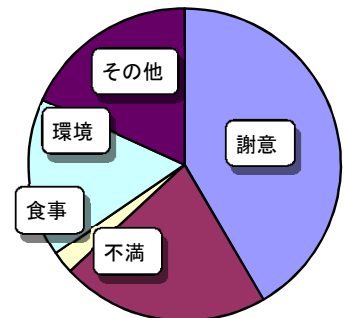
設問4 病室、トイレ、ディールーム、食事など療養環境について

	29年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
満足	921	54.5%	59.5%
やや満足	588	34.9%	32.0%
やや不満	137	8.1%	6.2%
不満	30	1.8%	2.0%
なんとも言えない	15	0.8%	0.4%
合計	1,691	100.0%	100.0%



設問5 その他の意見

	29年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
医師、看護師等に対する謝意	688	41.6%	46.0%
医師、看護師等に対する不満	356	21.5%	19.0%
食事に関する要望	39	2.4%	1.4%
環境整備に関する要望	271	16.5%	19.3%
その他	301	18.2%	14.3%
合計	1,655	100.2%	100.0%



Ⅲ 主な改善検討事例

1 附属病院

	検討項目	改善検討内容
1	ネーム・バーコードラベルの発行	他院で発生した経管注入薬剤の誤注入事故を受けて、当院でも誤注入防止対策の検討を開始し、電子認証可能な汎用性のあるネーム・バーコードラベルが発行できるようシステムを整備した。
2	ドレーン等抜去時の確認事項について	ドレーン抜去時に先端が断裂し遺残することを防止するため、ドレーン・チューブ抜去時は先端の断裂がないこと、断裂が疑われる場合はレントゲンで遺残がないことを確認するよう職員へ周知した。
3	インシデント・ピーク対策	前年度のインシデント報告件数は7月がピークであり、新採用者・異動者による報告が特に増加傾向であった。そのため各部署でRMを中心にピーク対策の立案・実施・実績報告する取り組みを行った（5-8月）。その結果、2018年度は7月前後のピークがみられなかった。
4	「入院鎮静患者の退室確認書」改定	従来の「入院患者鎮静患者の退室確認書」では「退室可」と評価する過程で、一部不明確な部分があったため、統一した評価が行えるよう「入院患者鎮静患者の退室確認書」および関連マニュアルを見直し、修正した。
5	手術時の患者安全チェックリストの改正	執刀前のタイムアウトにおいて医師間の情報共有がより適切に行われるよう「手術時の患者チェックリスト」の「手術チームの情報共有」欄の文言を変更した。また、SSI予防ガイドラインの改訂に伴いアルコール含有消毒剤の使用が増えることが予想されるため、電気メスによる引火事故防止のための確認項目を追加した。
6	検査等でパニック値が発生した場合の対応に関する調査	他院において血液検査の結果を医療者間で共有できなかった医療事故を受け、当院の各種検査によるパニック値検出時の報告体制について調査を行った。各検査部門においてパニック値検出時の報告体制は整備されていたが、検査依頼医へ連絡がつかない場合の対応は統一されていないことがわかった。システム上での共有を含め継続して対応を検討中である。
7	ICG試験前の食事摂取に関するインシデント防止対策	ICG試験（肝機能検査）の前に食事を摂取してしまい検査を実施できなかったインシデントを受け、医療者側の説明漏れの防止対策としてオーダ時にアラートが表示されるようにシステム変更した。また、患者側の失念防止対策として診療予約票に「朝から食事は禁止です」と標記されるように変更した。
8	薬剤・消毒薬の誤投与防止マニュアルの整備	医療安全情報 No. 134「清潔野における消毒剤の誤った投与」（日本医療評価機構）を受けて当院の手術室等における誤投与防止対策の実施状況を確認した。各部署で誤投与防止対策（使用後すぐに破棄、他薬剤と区別するため専用容器を使用など）が実施されていたが、一部マニュアル等に明文化されていない部署もあったため、医療安全マニュアルに「清潔野における消毒薬剤の誤投与防止対策」の項を追加した。
9	末梢ルートにおける生食ロックの導入	ヘパリン投与禁忌の患者にヘパリンロックを実施したインシデントを受けて、末梢ルートのロックには原則、生食を用いる運用を開始した（生食ロックの導入）。
10	アレルギー歴のカルテ入力徹底	アレルギー歴の情報共有不足のインシデントを受けて、職種にかかわらずアレルギー歴を聴取した職員自身が電子カルテにアレルギー情報を入力するよう再周知した。
11	DNAR指示に関わるガイドラインの作成	院内におけるDNARの定義・DNAR同意取得・カルテ記載・DNAR指示の手順が標準化するためワーキンググループを設置し、「DNAR指示に関わるガイドライン」を作成した。2018年度より本ガイドラインの運用を開始している。

2 センター病院

	検討項目	改善検討内容
1	診療科部長とリスクマネージャー、統括安全管理者・安全管理室との個別面談実施	各診療科と個別面談を実施し、医療安全について診療科部長とリスクマネージャーで役割を再確認した。今年度は病棟師長等も同席し、抱えている課題について相互に情報共有できるような環境を整えた。
2	中央部門責任者とリスクマネージャー、安全管理室との個別面談実施	診療科と同様に、中央部門（栄養部、放射線部、リハビリテーション部、薬剤部、輸血部、臨床検査部）についても個別面談を実施し、安全に関する取り組みや今後の課題などを確認した。
3	業務改善報告書の提出	業務改善報告書について、診療科と中央部門を主に対象としてリスクマネージャーと協議しながら作成した。
4	R R S (Rapid Response System)稼働開始	ドクターコールとなる前の急変予知となるRRSを10月2日より稼働開始した。昨年度のグループワーク検討結果や他大学への見学・勉強会参加をプロジェクトメンバーで共有し、当院の体制・要綱を整備した。
5	病理結果報告書参照確認メール開始	病理結果公開日から約2週間経過しても、参照確認が押されていないもの、もしくはスタッフ医師が参照確認をしていないと考えられるものについては、毎週水曜日に電子カルテ端末のポータルメールで、診療科部長とリスクマネージャーに未参照リストの送付することにした
6	放射線部読影医からのレポート配達・連絡作業開始	依頼医のコメントと明らかに異なる所見があるのではないかと読影医が判断した症例について、10月10日から当該レポートを印刷して診療科部長へ配達する取り組みを開始、10月30日からは併せて読影を依頼した医師に対して直接電話連絡を行なう運用が開始された。
7	輸血準備確認時の2人同時双方向型ダブルチェック開始	看護部安全委員と協力し、9月から輸血準備確認時に2人同時双方向型でダブルチェックする確認方法を施行した。施行中にインシデント事例の発生はなく、周知・施行についても良好であったため、2月以降全病棟へ実施拡大した。
8	手術時の安全チェックリスト改訂	最新の手術部運営マニュアルに合わせ、「ガーゼ遺残防止のためのエックス線撮影」「タイムアウト」の項目の一部を改訂した。
9	中心静脈カテーテル挿入・留置講習会アドバンスドコース開始	リアルタイム超音波ガイド下中心静脈穿刺方法を学習する講習会を開催した。
10	医療安全推進週間での部署スローガン作成と優秀賞表彰	医療安全推進週間にあわせて、部署でのスローガン作成をリスクマネージャー会議で依頼した。作成されたスローガンについて同会議で投票を行い優秀賞を選出し表彰を行った。
11	院外処方せんのレイアウト変更	院外処方せんは、処方内容によって複数枚数発行されることが多い。処方せんお渡し時、スタッフが気づきやすくするため、さらには患者側が気づくことができる場面を増やすことを目的に、院外処方せんの右上に「全〇頁 〇枚目」とある表示を大きくした。
12	初診患者への体内金属問診票運用検討	外来初診患者へ他の問診票とともに体内金属問診票を配布することが検討された。問診票はスキャナで電子カルテに取り込まれ、体内金属の項目で確認できる。患者基本情報への入力（「ある」「なし」のみ）は医師事務作業補助者が実施する。（運用は平成30年4月2日から開始）
13	外来基本カードを入れるクリアファイルの改定	外来で患者基本カードを入れるために使用されているクリアファイルを、患者氏名の部分だけが見やすいものに改定した。

	検討項目	改善検討内容
14	外来医師使用の電子カルテパソコンに患者氏名確認啓発カード掲示	外来各所の電子カルテに「患者氏名確認」を啓発するためのカードを啓示した。
15	外来中待合室に患者参加型医療啓発ポスター掲示	外来中待合室に「診療券を出して待つ」「診察室では診療券を提示して、名前を言っていただく」という内容のポスターを掲示し、患者確認への啓発を行った。
16	外来患者へ患者参加型医療啓発チラシ配布	外来患者へ「診察内容や検査結果など主治医へ聞こう」という内容のチラシを配布し、患者確認への啓発を行った。

参 考 資 料

(平成 30 年 9 月 28 日)

1 医療安全管理体制	1
2 安全管理対策委員会の開催状況	3
3 リスクマネジャー会議の活動状況	9
4 安全管理研修の開催状況	13

1 医療安全管理体制

(1) 医療安全管理の組織体制

ア 統括安全管理者（医療安全管理責任者）

副病院長の内の1名を任命し、病院の医療の質を推進する統括者として位置付けています。

イ 安全管理指導者

統括安全管理者を補佐して、病院の医療安全管理の指導、改善命令、研修計画の策定、情報収集等を行う職として「安全管理指導者」（医師）を配置しています。

ウ 医療安全管理者（安全管理担当）

病院長、統括安全管理者、安全管理指導者等からの指示により、医療安全確保のための対策及び評価、診察状況の把握及び職員の医療安全に関する意識向上の状況確認、プロジェクトの推進等を行うため、各病院の「医療安全管理室」に担当係長を2名（看護師、薬剤師）配置しています。

エ 医薬品安全管理責任者

院内の医薬品に係る安全管理のための体制の確保に努めるとともに業務手順書の作成、研修の実施、業務手順書に基づいた業務の実施、医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認、未承認、適応外又は禁忌の使用の把握と必要性の検討の状況確認、必要に応じた指導及び結果の共有、未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等についての検討および決定に関すること、および未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたかについての、従業者の遵守状況の確認に関すること等を行っています。

オ 医療機器安全管理責任者

医療機器の使用に係る安全管理のための体制の確保に努めるとともに研修の実施、保守点検に関する計画の策定及び保守点検の適切な実施、医療機器情報の整理、周知及び周知状況の確認に関すること等を行っています。附属病院ではこれらに加え、未承認・未認証・未届出、適応外又は禁忌・禁止の使用の把握と必要性の検討の状況確認、必要に応じた指導及び結果の共有、未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等についての検討および決定に関すること、および未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたかについての、従業者の遵守状況の確認に関することを行っています。

カ 高難度新規医療技術評価部長（附属病院）

高難度新規医療技術を実施するにあたり、当該高難度新規医療技術の実施の適否等について決定し、また、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び術後に患者さんが死亡した場合その他必要な場合には、診療特等の記載内容を確認しています。

キ 未承認新規医薬品等評価部長（附属病院）

未承認新規医薬品等を使用するにあたり、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、また、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び使用後に患者さんが死亡した場合その他必要な場合には、診療特等の記載内容を確認しています。

ク リスクマネジャー

安全管理に関する職場点検の状況報告、改善報告、事故の対応および報告、職員の教育および指導、安全管理に関するプロジェクトへの参加等を行っています。

(2) 安全管理の推進のための委員会活動

ア 安全管理対策委員会

統括安全管理者を委員長とし、院内の安全管理対策の検討・推進を図るため、問題の原因究明のための調査及び分析、改善のための方策の立案及び実施と周知、方針の見直し等を行っています。

イ リスクマネジャー会議

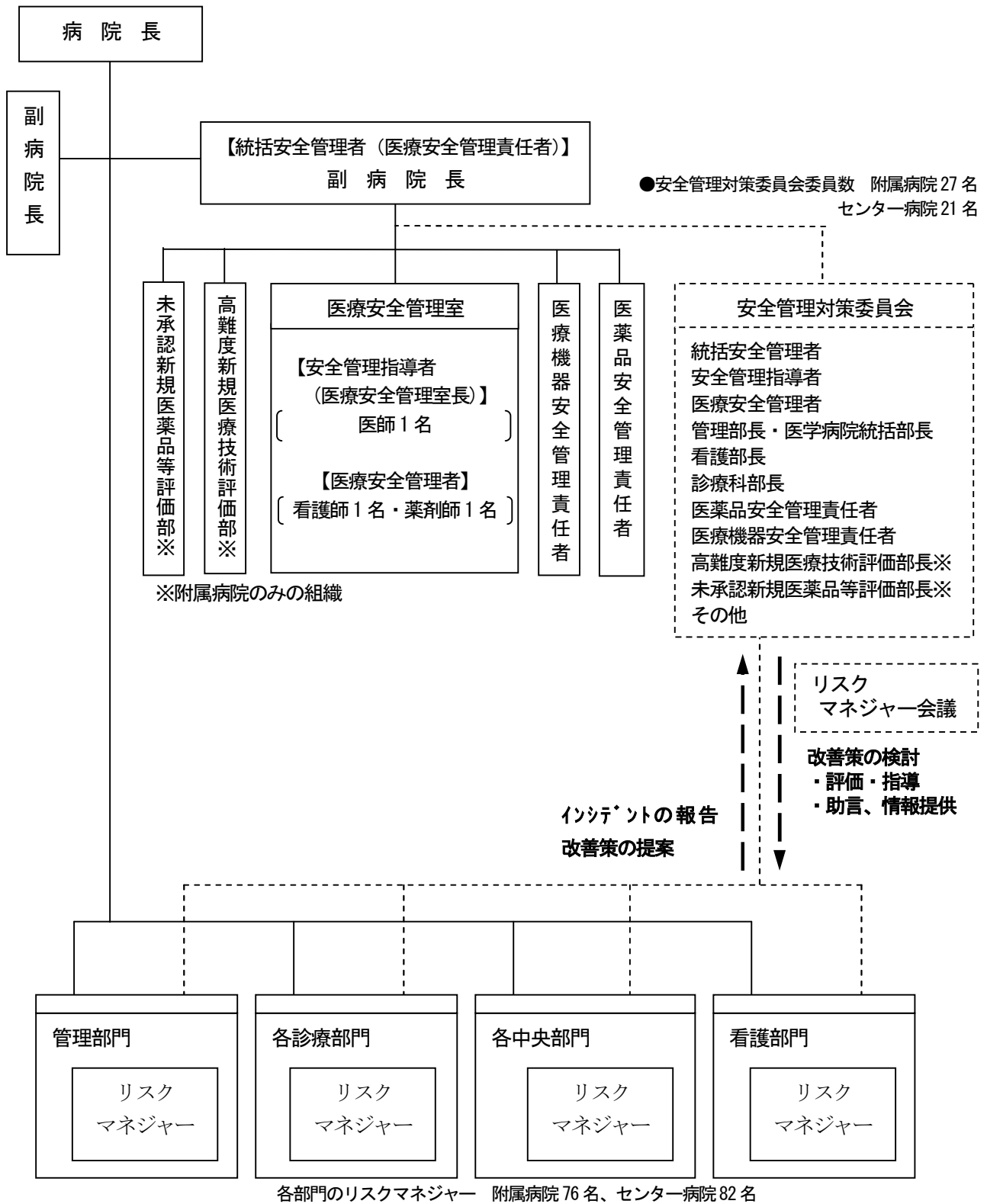
安全管理対策委員会の方針に基づき、医療安全上の検討や周知を図るとともに、インシデント報告の検討、各部署の安全管理の取組みの発表、討議及び情報の共有化を図り、各部署での医療安全管理を推進しています。

ウ インシデント報告システム

病院の日常業務の中で、医療事故につながりかねない「ヒヤリ、ハット」したできごと（インシデント）を医療従事者が自主的に報告し、その情報をもとに、事故を未然に防ぐための改善策を確立するシステムです。

報告は、各部門のリスクマネジャーから医療安全管理室に報告され、安全管理対策委員会とリスクマネジャー会議を通じて改善策の検討と周知などを行っています。

横浜市立大学附属2病院 安全管理体制図



(委員等の人数は平成 30 年 4 月 1 日現在)

2 安全管理対策委員会の活動状況

附属病院

開催日		主な議題
第1回	4月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 今年度の医療安全体制について 3 医療安全に関する研修について 4 今年度のリスクマネジャー会議について 5 医療関連ニュースについて 6 中心静脈穿刺全数調査について 7 事例報告 8 ネーム・バーコードラベルの運用について 9 前年度インシデントの件数と共有について 10 院内医療事故会議報告 11 医薬品安全管理責任者からの報告事項 12 医療機器安全管理責任者からの報告事項 13 患者からの安全管理に関わる相談報告 14 リスクマネジャーへの月次配布物について 15 高難度新規医療技術評価部、未承認新規医薬品等評価部の定例報告について
第2回	5月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 9 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 患者からの安全管理に関わる相談報告 11 リスクマネジャーへの月次配布物について 12 術者資格について 13 主治医・指導医・担当医について
第3回	6月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 9 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 患者からの安全管理に関わる相談報告 11 医療事故情報収集等事業（医療機能評価機構）の報告テーマ変更について 12 リスクマネジャーへの月次配布物について
第4回	7月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 9 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 患者からの安全管理に関わる相談報告 11 リスクマネジャーによる医療安全巡視 12 医療における安全文化に関する調査実施 13 リスクマネジャーへの月次配布物について

開催日		主な議題
第5回	8月28日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 インシデント数報告 6 院内医療事故会議報告 7 医薬品安全管理責任者からの報告事項 8 医療機器安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 10 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 11 安全に関するモニタリング指標 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 第1回横浜市立大学附属2病院監査委員会報告 14 中心静脈穿刺全数調査（平成29年4月～6月） 15 医療における安全文化に関する調査実施 16 リスクマネジャーへの月次配布物について
第6回	9月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 9 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 患者からの安全管理に関わる相談報告 12 第1回横浜市立大学附属2病院監査委員会報告 13 リスクマネジャー院内巡視報告 14 リスクマネジャーへの月次配布物について
第7回	10月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 9 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 患者からの安全管理に関わる相談報告 12 第1回横浜市立大学附属2病院監査委員会報告 13 関東信越厚生局立入検査、横浜市 14 リスクマネジャーへの月次配布物について
第8回	11月27日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 立ち入り検査結果報告 5 来年度ピアレビュー（特定機能病院承認要綱） 6 事例報告 7 院内医療事故会議報告 8 検査結果報告 9 医薬品安全管理責任者からの報告事項 10 医療機器安全管理責任者からの報告事項 11 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 12 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 13 医療安全に資する診療内容のモニタリング 14 患者からの安全管理に関わる相談報告 15 7～9月のインシデント報告 16 リスクマネジャーへの月次配布物について

開催日	主な議題
第9回 12月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 9 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 患者からの安全管理に関わる相談報告 12 医療事故情報収集等事業（医療機能評価機構）の報告テーマ変更について 13 患者確認強化月間の取り組み 14 リスクマネジャーへの月次配布物について
第10回 1月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理者からの報告事項 7 医療機器安全管理者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 9 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 患者からの安全管理に関わる相談報告 12 医療安全情報No. 134 13 未開封画像診断報告書調査結果 14 医療安全相互ラウンド 15 患者確認強化月間の取り組み、リスクマネジャー院内巡視 16 リスクマネジャーへの月次配布物について
第11回 2月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 9 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 患者からの安全管理に関わる相談報告 12 医療安全相互ラウンド結果（指摘事項） 13 リスクマネジャー院内巡視結果 14 平成30年度医療安全年間テーマ実施計画案 15 平成30年度研修計画予定 16 医療安全情報No. 135 17 リスクマネジャーへの月次配布物について
第12回 3月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 画像診断報告書未確認に関連する事故調査委員会報告 7 医薬品安全管理責任者からの報告事項 8 医療機器安全管理者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価部からの報告事項 10 未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 11 医療安全に資する診療内容のモニタリング 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 外来アンケート結果報告 14 横浜市立大学附属2病院第2回監査委員会報告 15 医療安全情報No. 136 16 リスクマネジャーへの月次配布物について

センター病院

開催日	主な議題
第1回 4月10日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 國崎統括安全管理者より新年度挨拶 2. 第203回 安全管理対策委員会議報告について 3. 平成29年度会議予定 4. 医療関連ニュース（平成29年2月23日～3月29日分）報告 5. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 6. リエゾンチーム報告 7. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 8. 総合サポートセンター報告 9. 死亡退院報告 10. 病理検査結果報告書の確認忘れ防止策に関する検討 11. 平成29年度リスクマネージャー会グループワークについて 12. 診療科部長・中央部門責任者・リスクマネージャーと統括安全管理者・安全管理室との個別面談について 13. 医療安全管理指針・医療安全管理マニュアル改訂（第14版）について 14. 3月事例報告 15. 医療安全情報の配布 16. 院内・院外研修会案内
第2回 5月1日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第204回 安全管理対策委員会議報告について 2. 医療関連ニュース（平成29年3月30日～4月19日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 5. 総合サポートセンター報告 6. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 7. 死亡退院報告 8. 新任職員への医療安全に関するオリエンテーション実施報告 9. 平成29年度 リスクマネージャー会議 グループワークについて 10. 平成28年度下半期インシデント報告 11. 診療科部長・中央部門責任者・リスクマネージャーと統括安全管理者・安全管理室との個別面談について 12. プロジェクト活動報告 13. 患者誤認防止に関する検討 14. 4月事例報告 15. 医療安全情報の配布 16. 院内・院外研修会案内
第3回 6月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第205回 安全管理対策委員会議報告について 2. 医療関連ニュース（平成29年4月20日～5月24日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6. 総合サポートセンター報告 7. 死亡退院報告 8. 中心静脈カテーテル挿入・留置講習会開催について 9. 診療科部長・中央部門責任者・リスクマネージャーと統括安全管理者・安全管理室との個別面談について 10. プロジェクト活動報告 11. シュアプラグ 三方活栓の仕様変更について 12. 医療安全管理指針・マニュアル改訂について検討 13. 5月事例報告 14. 医療安全情報の配布 15. 院内・院外研修会案内
第4回 7月3日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第206回 安全管理対策委員会議報告について 2. 医療関連ニュース（平成29年5月25日～6月21日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6. 総合サポートセンター報告 7. 死亡退院報告 8. チームSTEPPS研修会開催案内 9. 6月事例報告 10. 医療安全情報の配布 11. 院内・院外研修会案内

開催日		主な議題
第5回	8月7日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第207回 安全管理対策委員会議報告について 2. 医療関連ニュース（医療関連ニュース（平成29年6月22日～7月26日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6. 総合サポートセンター報告 7. 死亡退院報告 8. 7月事例報告 9. チームSTEPPS研修会実施報告・医療安全講演会開催案内 10. 監査委員会報告 11. 輸血準備に関する取り組み事項について報告 12. 人工呼吸器トラブルについて報告 13. 放射線・病理レポート通知機能に関する進捗報告 14. 医療安全情報の配布 15. 院内・院外研修会案内
第6回	9月4日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第208回 安全管理対策委員会議報告について 2. 医療関連ニュース（平成29年7月27日～8月23日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. 総合サポートセンター報告 6. 死亡退院報告 7. 8月事例報告 8. 医療安全講演会実施報告 9. 事例検討 10. RRS（Rapid Response System）稼働について審議 11. 医療安全情報の配布 12. 院内・院外研修会案内
第7回	10月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第209回 安全管理対策委員会議報告について 2. 医療関連ニュース（平成29年8月24日～9月20日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6. 総合サポートセンター報告 7. 死亡退院報告 8. 9月事例報告 9. 研修会報告・案内 10. 医療安全巡回について 11. RRS（Rapid Response System）稼働について 12. 人工呼吸器「SAVINA300」バージョンアップ運用変更について 13. 体内金属の電子カルテ入力について 14. 医療安全情報の配布
第8回	11月6日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第210回 安全管理対策委員会議報告について 2. 医療関連ニュース（平成29年9月21日～11月1日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. RRT（ラピッド・レスポンス・チーム）報告 6. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 7. 総合サポートセンター報告 8. 死亡退院報告 9. 医療安全巡回について 10. 研修会報告・案内 11. 10月事例報告 12. 事例進捗報告 13. 平成29年度上半期インシデント報告 14. 手術時の安全チェックリスト一部修正案について検討 15. 医療安全推進週間の取組みについて 16. 医薬品安全使用に関する業務手順書第8版の変更点について 17. 医療安全管理指針・医療安全マニュアル第13版改訂点について検討 18. 医療安全情報の配布 19. 院内・院外研修会案内

開催日		主な議題
第9回	12月4日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第211回 安全管理対策委員会議、第193回リスクマネジャー会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年11月2日～11月22日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. RRT（ラピッド・レスポンス・チーム）報告 6. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 7. 総合サポートセンター報告 8. 死亡退院報告 9. 医療安全巡回結果 10. 医療安全推進週間活動報告 11. 研修会報告・案内 12. 11月事例報告 13. 事例検討報告 14. 夜間・休日の緊急手術に関する報告 15. 医療安全情報の配布 16. 院内・院外研修会案内
第10回	1月9日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第212回 安全管理対策委員会議、第194回リスクマネジャー会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年11月24日～12月28日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. RRT（ラピッド・レスポンス・チーム）報告 6. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 7. 総合サポートセンター報告 8. 死亡退院報告 9. 医療安全推進週間グッドスローガン賞について 10. 研修会報告・案内 11. 医療監視報告 12. 平成29年度第2回監査委員会開催について 13. 12月事例報告 14. 輸血準備確認方法の変更について 15. 医療安全マニュアルの一部改訂に関する検討 16. 医療安全情報の配布 17. 院内・院外研修会案内
第11回	2月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第213回 安全管理対策委員会議、第195回リスクマネジャー会議報告 2. 医療関連ニュース（平成30年1月4日～1月26日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. RRT（ラピッド・レスポンス・チーム）報告 6. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 7. 総合サポートセンター報告 8. 死亡退院報告 9. 研修会報告・案内 10. 1月事例報告 11. 平成29年度第2回監査委員会報告 12. 医療安全マニュアルの一部改訂に関する検討 13. 医療安全情報の配布 14. 院内・院外研修会案内
第12回	3月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第214回 安全管理対策委員会議、第196回リスクマネジャー会議報告 2. 医療関連ニュース（平成30年1月27日～2月23日分）報告 3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告 4. リエゾンチーム報告 5. RRT（ラピッド・レスポンス・チーム）報告 6. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 7. 総合サポートセンター報告 8. 死亡退院報告 9. リスクマネジャー会議グループワーク発表報告 10. 平成29年度 医療安全に関する院外研修参加実績 11. 平成30年度 安全管理対策委員会開催予定 12. 転倒転落予防対策プロジェクト報告 13. 2月事例報告 14. 講演会報告と次年度の研修開催について検討 15. 体内金属に関する問診票運用案に関する検討 16. 医療安全情報の配布

3 リスクマネジャー会議の活動状況

附属病院

開催日		主な議題
第1回	4月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 今年度の医療安全管理体制について 3 今年度のリスクマネジャー会議の形態について 4 医療安全に関する研修について 5 医療関連ニュースについて 6 事例報告 7 薬剤疑義照会事例 8 鎮静マニュアルの改正と入院鎮静患者の退出基準について 9 鎮静マニュアル、鎮静レシピ申請書の更新について 10 研修医向けCVCシール発行変更について 11 医療安全に対策に関する部門内業務改善計画書について 12 月次配布
第2回	5月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 平成28年度インシデント件数報告 7 インシデントのピーク月対策について 8 ネーム・バーコードラベルの運用開始について 9 患者からの安全管理に関する相談報告について 10 医療安全に対策に関する部門内業務改善計画書について 11 医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について 12 TeamSTEPSファシリテーターについて 13 グループワークの進め方
第3回	6月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度第2回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づく確認について 7 中心静脈穿刺全数調査について（平成28年度） 8 医療安全情報No. 126
第4回	7月3日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 リスクマネジャーによる院内巡視について 7 医療事故情報収集等事業（医療機能評価機構）の報告テーマ変更について 8 安全文化調査9月実施予定について 9 医療安全情報No. 127
第5回	9月4日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 「医薬品の安全使用のための業務手順書」について 7 輸液製剤の返却について 8 医療安全マニュアルⅢ-34「鎮静マニュアル」改訂 9 医療安全マニュアルⅢ-14改訂 10 アレルギー情報入力状況について 11 リスクマネジャーによる院内巡視の結果 12 インシデントピーク対策取組実績表について 13 医療における安全文化に関する調査について 14 中心静脈穿刺全数調査について（4～6月） 15 医療安全情報No. 128、129
第6回	10月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 リスクマネジャー院内巡視報告 7 関東信越厚生局立入検査について 8 身体抑制について 9 医療安全マニュアルⅢ-12改訂について 10 医療安全情報No. 130 11 医療安全管理者養成研修会受講終了者の調査について

開催日		主な議題
第7回	11月6日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 センター病院の医療事故案件について 4 医療関連ニュースについて 5 事例報告 6 ルートロックについて 7 薬剤疑義照会事例 8 医療安全マニュアルⅢ-22改訂について 9 医薬品安全使用のための業務手順書改訂について 10 医薬品安全情報No. 131 11 関東信越厚生局立入検査、横浜市病院立入検査について
第8回	12月4日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 患者確認強化月間の取り組みについて 5 事例報告 6 薬剤疑義照会事例 7 「医薬品の安全使用のための業務手順書」実施状況の確認及び報告書の提出について 8 4～9月のインシデント報告 9 医療安全情報No. 132 10 グループワークの発表について 11 ポケット版医療安全管理指針・医療安全マニュアル改訂について
第9回	1月15日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に関する部門内業務改善計画書最終評価について 7 医療機能評価機構への報告テーマの変更 8 リスクマネジャーによる院内巡視について 9 医療における安全文化に関する調査結果について 10 医療安全情報No. 133 11 グループワークの発表について
第10回	2月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 業務改善計画書の最終評価について 7 患者確認強化月間中間評価 8 医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について 9 画像診断報告書未確認事例の詳細報告について 10 医療安全情報No. 134 11 グループワーク発表について
第11回	3月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全管理指針の改正について 7 ポケット版医療安全管理指針・医療安全マニュアルについて 8 患者確認強化月間院内巡視結果について 9 医薬品の安全使用のための業務手順書について 10 業務改善計画書の最終評価について 11 医療安全講演会の未受講者について 12 医療安全情報No. 135 13 次年度のリスクマネジャー選出依頼について 14 グループワークの発表について

センター病院

開催日		主な議題
第1回	4月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 國崎統括安全管理者より新年度挨拶 2. 4月安全管理対策委員会会議報告 3. 医療関連ニュース（平成29年2月23日～3月29日分）報告 4. 医療安全情報 No.124 「2016年に提供した医療安全情報」 5. 平成29年度 リスクマネジャー一覧・会議日程 6. リスクマネジャー発令 7. リスクマネジャーの役割について 8. 新任職員への医療安全に関するオリエンテーション実施報告 9. 診療科部長・中央部門責任者・リスクマネジャーと統括安全管理者・安全管理室との個別面談について 10. リスクマネジャーグループワークについて 11. 中心静脈カテーテル挿入・留置実技講習会のお知らせ 12. 病理結果報告書の参照確認運用について
第2回	5月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年3月30日～4月19日分）報告 3. 医療安全情報 No.125 「術前に中止する薬剤の把握不足」 4. 新任職員への医療安全に関するオリエンテーション実施報告 5. e-learningについて 6. 中心静脈カテーテル挿入・留置実技講習会予定 7. 診療科部長・中央部門責任者・リスクマネジャーと統括安全管理者・安全管理室との個別面談について 8. 病理結果報告書の参照確認運用について 9. 平成27年度下半期インシデント報告 10. リスクマネジャーグループワーク
第3回	6月12日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 6月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年4月20日～5月24日分）報告 3. 医療安全情報 No.126 「輸血中の四肢からの採血」 4. e-learningについて 5. 診療科部長・中央部門責任者・リスクマネジャーと統括安全管理者・安全管理室との個別面談について 6. プロジェクト報告 7. チームSTEPPS研修会開催案内 8. シュアプラグ 三方活栓の仕様変更について
第4回	7月10日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 7月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年5月25日～6月21日分）報告 3. 医療安全情報 No.127 「2013年から2015年に提供した医療安全情報」 4. チームSTEPPS研修会開催案内 5. 病理結果報告など検査結果参照に関する報告 6. 院外処方せん 仕様変更（案）についての意見交換 7. グループワーク10からアンケートのお願い 8. リスクマネジャーグループワーク
第5回	9月12日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 8、9月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年6月22日～8月23日分）報告 3. 医療安全情報 No.128「手術部位の左右の取り違い」 No.129「併用禁忌の薬剤の投与（第2報）」 4. 講演会・研修会開催案内 5. e-learning 未受講者への受講勧奨について 6. 看護部の安全対策活動についての報告 7. MRI検査オーダー時における体内金属有無の確認について 8. 監査委員会報告 9. RRS (Rapid Response System) 稼働について 10. 患者情報（レポート類）の確認について意見交換 11. リスクマネジャーグループワーク
第6回	10月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年8月24日～9月20日分）報告 3. 医療安全情報 No.130 「中心静脈ラインの開放による空気塞栓症」 PMDA医療安全情報 No.51「一般名類似による薬剤取り違いについて」 ME機器安全性情報 「日本光電製 除細動器の放電テスト時の注意」 4. 講演会・研修会開催案内 5. e-learning 未受講者への受講勧奨について 6. 医療安全巡回について 7. RRS (Rapid Response System) 稼働について 8. 放射線部読影医からのレポート配達作業開始について 9. 手術後ガーゼ遺残防止対策についての学会報告

開催日		主な議題
第7回	11月13日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 11月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年9月21日～11月1日分）報告 3. 医療安全情報 No. 131 「インスリン単位の誤解（第2報）」 4. e-learning「基本の10問」「医療コミュニケーション」について 5. e-learning 未受講者への受講勧奨について 6. 医療安全巡回について 7. 医療安全推進週間の取組みについて 8. 平成29年度上半期インシデント報告 9. 放射線部読影医からのレポート配達作業と連絡開始について 10. 再周知・確認事項 11. 外来での患者確認の取組みについて 12. 感染制御部からご案内 13. 事例共有
第8回	12月11日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 12月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年11月2日～11月22日分）報告 3. 医療安全情報 No. 132 「オーバーテーブルを支えにした患者の転倒」 4. 講演会・研修会開催案内 5. 医療安全巡回報告 6. 医療安全推進週間報告 7. 次期医療機能評価の受審カテゴリーについて 8. リスクマネージャーグループワーク
第9回	1月15日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成29年11月24日～12月28日分）報告 3. 医療安全情報 No. 133 「胸腔ドレーンの大気への開放」 4. 医療安全推進週間 グッドスローガン賞発表 5. 輸血準備確認の方法変更について 6. ベンチュリーマスクのメーカー変更について 7. RRS (Rapid Response System) 稼働について 8. 事例共有 9. グループワーク発表会
第10回	2月19日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成30年1月4日～1月26日分）報告 3. 医療安全情報 No. 134 「清潔野における消毒剤の誤った投与」 PMDA医療安全情報 No. 52「開放式脳室ドレナージ回路使用時の注意点について」 4. 講演会・研修会開催案内 5. 監査委員会報告 6. 平成30年度診療科リスクマネージャー選出依頼 7. 再周知事項 8. グループワーク発表会
第11回	3月13日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3月安全管理対策委員会会議報告 2. 医療関連ニュース（平成30年1月27日～2月23日分）報告 3. 医療安全情報 No. 135 「『スタンバイ』にした人工呼吸器の開始忘れ（第2報）」 4. 講習会・研修会開催案内 5. 平成30年度 中央部門・事務部門 リスクマネージャー選出依頼 6. リスクマネージャー引継ぎ事項依頼 7. 病理結果未参照レポート数推移報告 8. 初診患者への体内金属問診票運用開始について 9. グループワーク発表会

安全管理研修の開催状況

附属病院

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新採用・転入者入職時研修	4/6	新採用者・転入職者	127人	1.5時間	放射線診療における医療安全：放射線科 講師 エラー防止に向けた処方オーダーについて：薬剤部 副薬剤部長 手術・検査における医療安全：麻酔科 助教 当院の医療安全について：医療安全管理者 研修医の指導に際して：臨床研修センター長 診療録の記載について：医療情報部長 個人情報保護・取扱いについて：医療情報部長 当院の感染対策について：感染制御部長 臨床研究について：次世代臨床研修センター教育・研修室 室長
	eL		258人		
TeamSTEPS研修	5/31 7/14 9/19 11/20	全職員	79人 75人 76人 77人	1.5時間	参加型医療安全研修：安全管理指導者 ファンリテーター：H29年度リスクマネジャー
第1回医療安全講演会	4/14 5/8 5/9 5/9 5/10 5/11 5/15 5/18 5/19 DVD	新採用者・転入職者・全職員	264人 20人 11人 18人 16人 16人 12人 11人 14人 34人	1時間	附属病院の医療安全の歩み：安全管理指導者
第2回医療安全講演会	6/21 7/5 7/5 7/6 7/7 7/7 7/10 7/11 7/13 DVD	看護師・コメディカル・全職員	256人 59人 28人 99人 117人 50人 62人 62人 68人 65人	1.25時間	法的に適した記録の書き方：外部講師（弁護士・医師）
第3回医療安全講演会	6/21 7/31 8/1 8/3 8/3 8/4 8/9 8/10 8/14 DVD	医師・看護師・全職員	266人 38人 61人 47人 50人 14人 75人 50人 50人 59人	1.0時間	説明と同意～どこまで説明すれば義務を果たしたといえるのか？～：外部講師（弁護士・医師）
第4回医療安全講演会	11/13 12/1 12/4 12/5 12/6 12/7 12/11 12/12 12/14 12/20 12/22 DVD	全職員	150人 51人 62人 83人 62人 66人 34人 21人 32人 32人 43人 16人	1.0時間	除細動器・搬送用呼吸器について：臨床工学技士 後発医薬品と医療安全：薬剤部 副薬剤部長
第5回医療安全講演会	1/11 1/31 1/31 2/1 2/1 2/2 2/2 2/5 2/6 2/6 DVD	全職員	170人 90人 34人 90人 22人 79人 32人 82人 60人 36人 10人	1.0時間	患者確認強化月間について：H29年度リスクマネジャーグループワーク Dグループ 安全文化調査結果について 今年度の事例を振り返って：安全管理指導者
第6回医療安全講演会	2/14 2/26 2/27 2/27 2/28 2/28 3/1 3/1 3/2 3/2 DVD	全職員	144人 40人 49人 28人 47人 14人 46人 16人 46人 28人 39人	1.0時間	リスクマネジャーグループワークより ※バーチャルツアー～他部署の仕事を見てみよう～ ：形成外科 准教授 ※MACT (Monitor Alarm Control Team) ：7-4病棟師長 ※DNARのガイドラインについて ：血液・免疫・感染症内科 教授

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
MR磁場体験研修	4/10	新採用看護師 1年次研修医全 職員	15人	1.0時間	MRI検査の特徴を学習・体験し、磁場を用いた検査の注意点を理解する：放射線技師
	4/11		15人		
	5/23		19人		
	5/25		23人		
	5/29		26人		
	5/30		24人		
	6/7 10/18		13人 17人		
人工呼吸研修Ⅰ	5/26 6/2 7/7 10/20	医師・研修 医・看護師・ 医学部生	8人 21人 9人 20人	1.5時間	・講義（人工呼吸器使用の目的と適応、 事故予防マニュアルに沿った取扱い、緊急時の対応等）、 演習：人工呼吸器教育研修プログラム主催
人工呼吸研修Ⅱ	6/30 9/1 12/1	レベルⅠ受講 者	17人 7人 14人	1.5時間	
中心静脈カテーテ ル講習会	4/28 5/16 10/17	医師・研修医	23人 50人 16人	3時間	・講義、シミュレーターを使用した実技演習 講師：CVCプロジェクトメンバー
心肺蘇生講習会	6/12 7/11 9/15 10/16 11/28 1/12	全職員	4人 5人 9人 4人 7人 2人	1時間	・心肺蘇生法（胸部圧迫の方法やAEDの取扱い等）について 講師：心肺蘇生WGメンバー
多職種オリエン テーション	4/10	多職種	156名	20分	薬剤部の役割/薬剤部係長
研修医セミナー	4/20	研修医	46名	1時間	麻薬の取り扱いについて/薬剤部係長
研修医セミナー	6/15	研修医	36名	1時間	抗がん剤について/担当薬剤師
感染リンクナース会	9/20	看護師	22名	30分	抗菌薬と耐性菌について/担当薬剤師
感染対策推進部会	9/20	多職種 (部会委員)	60名	30分	抗菌薬について/担当薬剤師
静脈注射研修	9/22	看護師	45名	30分	薬剤の基礎知識と管理/担当薬剤師
静脈注射研修	9/29	看護師	50名	30分	薬剤の基礎知識と管理/担当薬剤師
全身麻酔器研修	4/24	麻酔科医師 手術室看護師 臨床工学技士	1人	1時間	全身麻酔器研修の安全操作研修 手術室 Fabius GS・Tiro・Aysis・プライマスIE 講師：麻酔科医師・臨床工学技士・メーカー
	4/27		1人		
	6/14		18人		
	6/29		20人		
	7/5		22人		
	8/30		2人		
	9/2		1人		
	9/6		5人		
	9/27		1人		
	11/27		40人		
	12/7		19人		
	12/7		38人		
	12/12		10人		
	12/12		15人		
	12/20		6人		
12/20	6人				
12/25	13人				
12/25	18人				
人工心肺装置及び 補助循環装置研修	4/11	医師 看護師 臨床工学技士	3人	1時間	人工心肺勉強会 補助循環装置(IABP・PCPS・VAD)の操作研修 BIOMED VAD取扱い説明 AB5000 ABPortable 講師：臨床工学技士・メーカー
	4/17		8人		
	4/17		1人		
	4/26		1人		
	5/13-14		3人		
	5/23		5人		
	5/25		10人		
	5/30		5人		
	6/2		3人		
	7/22		3人		
	8/10		6人		
	8/17		1人		
	9/30		2人		
	12/14		1人		
	10/16		3人		
	11/2		21人		
	11/9		1人		
	11/18		3人		
	11/18		4人		
	12/16		6人		
2/19-20	2人				
2/21	1人				
2/24	4人				
3/20	6人				
3/23-25	1人				

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
人工呼吸器研修	4/20	医師 研修医 看護師 臨床工学技士	1人	1時間	人工呼吸器研修の安全な操作研修 SERVO-i、SERVO-U、V-60、Trilogy02、Triloy100Plus、 Babylog勉強・説明会、人工呼吸器セミナー 講師：集中治療部医師・臨床工学技士・メーカー
	4/21		1人		
	5/2		1人		
	5/2		4人		
	5/8		3人		
	5/10		4人		
	5/15		4人		
	5/18		1人		
	5/22		14人		
	5/26		8人		
	5/30		12人		
	5/31		11人		
	6/1		13人		
	6/2		5人		
	6/2		6人		
	6/2		21人		
	6/5		11人		
	6/9		4人		
	6/12		3人		
	6/19		5人		
	6/20		9人		
	6/22		8人		
	6/30		13人		
	6/30		3人		
	6/30		16人		
	7/7		1人		
	7/7		10人		
	7/11		6人		
7/13	10人				
7/20	6人				
7/24	5人				
9/1	3人				
9/1	7人				
9/6	13人				
9/7	6人				
9/19	3人				
9/20	11人				
10/20	21人				
11/13	652人				
11/14	3人				
12/1	14人				
12/2	2人				
12/28	8人				
2/8	22人				
血液浄化装置研修	4/24	看護師 臨床工学技士	1人	1時間	血液浄化装置操作研修 講師：看護師・臨床工学技士
	4/28		1人		
	6/20		13人		
	8/8		6人		
	2/19		5人		
除細動器研修(AEDを除く)	11/13	看護師	652人	1時間	除細動器について 講師：臨床工学技士
保育器研修	4/17	研修医	5人	1時間	保育器研修の使用研修、新規導入機器研修 NICU V-2100G/2200 CaleoV707 infaWarmer 講師：医師・臨床工学技士・メーカー
	4/19		1人		
	7/3		1人		
	8/1		1人		
	9/4		1人		
	10/3		1人		
	1/15		28人		
	1/15		28人		
	1/17		8人		
	1/19		13人		
	1/19		13人		
	1/23		10人		
	1/23		10人		
2/5	4人				

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
モニタ研修	4/16	医師 看護師 臨床工学技士	8人	1時間	新規導入機器研修、生体情報モニタ勉強会、EtCO2説明会 フィリップス及び日本光電 生体情報・セントラルモニタ 講師：医師、臨床工学技士
	4/16		4人		
	4/25		1人		
	4/25		1人		
	4/27		1人		
	5/2		6人		
	9/27		8人		
	9/30		2人		
	11/19		3人		
	11/25		2人		
2/15	14人				
パルスオキシメータ	4/20	看護師 臨床工学技士		1時間	新規導入機器研修 ネルコア取扱説明 講師：臨床工学技士、メーカー
	4/20				
ペースメーカー	4/8	臨床工学技士	1人	1時間	対外型・植込型ペースメーカー 講師：メーカー
	4/22		2人		
	4/26		1人		
	7/8		1人		
無侵襲混合血酸素飽和度環趾システム	4/7	看護師 臨床工学技士	8人	1時間	コビディエン INVOS取扱説明 講師：臨床工学技士、メーカー
	4/9		2人		
	4/12		5人		
	4/12		4人		
	4/14		7人		
	4/16		8人		
	4/16		4人		
5/2	1人				
動脈圧心拍出量計	5/1	臨床工学技士	1人	1時間	ビジレオ・ビジランス 講師：メーカー(E・L)
ネーザルハイフロー研修	4/21	看護師 臨床工学技士	1人	1時間	ネーザルハイフロー取扱研修 講師：臨床工学技士・メーカー
	7/7		8人		
	7/10		7人		
	10/27		7人		
	10/30		6人		
手術支援用ロボット	5/29	医師 看護師 臨床工学技士	1人	1時間	ダヴィンチ取扱説明、オンサイトトレーニング 講師：医師、臨床工学技士、メーカー
	6/9		7人		
	6/22		2人		
	8/6		5人		
	10/10		1人		
	11/15		2人		
	11/20		2人		
	12/16		1人		
	12/18		1人		
	1/18		12人		
	2/10		2人		
	2/26		2人		
電気メス	5/29	臨床工学技士	1人	1時間	電気メス取扱説明 講師：メーカー(日本メドトロニック)
	6/9		1人		
	6/22		2人		
自己血回収装置	4/19	臨床工学技士	1人	1時間	ソーリン エクストラ取扱説明 講師：メーカー
X線画像診断装置	5/12	医師 看護師 臨床工学技士	7人	1時間	新規導入機器研修 フィリップスCアーム 医師、看護師、臨床工学技士 講師：メーカー
	5/19		6人		
	6/5		31人		
超音波吸引装置	11/10	看護師	12人	1時間	CUSA取扱説明 講師：臨床工学技士
超音波診断装置	11/10	看護師	12人	1時間	エコー取扱説明 講師：臨床工学技士
血液ガス分析装置	4/27	臨床工学技士	1人	1時間	ABL825取扱説明 講師：メーカー(ラジオメーター)
低酸素ブレンダー	4/15	医師・看護師	5人	1時間	低酸素ブレンダー取扱説明 講師：臨床工学技士
輸液ポンプ	4/17	看護師 臨床工学技士	1人	1時間	輸液ポンプ取扱説明 講師：臨床工学技士、メーカー
	1/24		5人		
	1/29		11人		
	1/30		4人		
	1/31		4人		
シリンジポンプ	4/17	看護師 臨床工学技士	1人	1時間	シリンジポンプ取扱説明 講師：臨床工学技士、メーカー
	12/25		16人		
経腸栄養ポンプ	4/6	臨床工学技士	5人	1時間	経腸栄養ポンプ取扱及びメンテナンス説明 講師：メーカー(日本コビディエン)
	4/19		1人		
	6/1		5人		
深部静脈血栓予防装置	5/2	臨床工学技士	1人	1時間	フットポンプ取扱及びメンテナンス説明 講師：メーカー(スタープロダクト)

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
医療機器全般	5/12 5/16 5/20 5/22 6/5 6/5 6/29 7/8 11/12 2/21	医師 看護師 臨床工学技士	7人 12人 3人 4人 26人 26人 3人 1人 6人 1人	1時間	ベア-ハガー、ACT測定装置、アブレーション装置取扱説明 医師、看護師、臨床工学技士 講師：医師、臨床工学技士、メーカー
その他	4/21 10/5 10/6 10/13 11/25 12/1	医師 看護師 臨床工学技士 委託業者	1人 9人 4人 24人 2人 1人	1時間	ME機器管理システム、レビテーター 医師、看護師、臨床工学技士、委託業者 講師：医師、臨床工学技士、メーカー
ステップⅡパート ①	4/13 4/14 4/15 4/16 4/17 4/18	新人看護職員	89	3日間	基本的な看護技術を学ぶ。 基本的な看護技術のイメージが図れる。 病棟配置への心理的な準備を図り、リアリティーショックの予防の機会とする。 静脈採血・輸液管理・ポンプの取り扱い・内服管理・感染管理・酸素療法・気管内吸引・電子カルテ操作・輸血療法 講師：部署看護師長、認定看護師、教育委員
ステップⅡパート ②	5/28	新人看護職員	89	半日	
ステップⅣ（タイムマネジメント）	6/30	新人看護職員	86	半日	1. 日状業務の中で、状況に応じてタイムリーに応援を求める事が出来る 2. 業務遂行する上で適切な時間管理について学び、活かす事が出来る 講師：看護師長、教育委員
ステップⅤ（災害の備え・多職種協働・業務分担）	7/12	新人看護職員	86	半日	災害時の対応について基本的な知識を学ぶ 講師：看護師長（救急看護CN） 担当看護師として、患者を取り巻く多職種と連携出来る 講師：看護師長（集中ケアCN）、看護師（家族支援CNS）、教育委員
ステップⅥ（フィジカルアセスメントⅠ）	8/21	新人看護職員	85	1日	フィジカルアセスメントの基礎を学び、根拠に基づいて患者情報を収集し、観察した内容を適切に報告・相談できる 講師：看護学科基礎看護学准教授、教育委員
ステップⅦ（リスクアセスメント）	11/27 11/29	新人看護職員	78	半日	看護場面におけるリスクについて学び、安全な看護が提供できる 講師：安全管理担当師長、教育委員、安全委員
ステップⅦ（多重業務）	11/27 11/29	新人看護職員	78	半日	多重業務の中で、患者の安全を考えた業務の優先順位の判断を体験し、今後の看護実践に活かす 講師：看護師（家族支援CNS）、教育委員
感染対策の基礎	6/7 6/15	新人看護職員	88	半日	1. 基本的な標準予防策に必要な基礎知識を修得する 2. 膀胱留置カテーテル挿入時・留置中の感染対策を学ぶ 講師：看護師長（感染管理CN）、看護師（感染管理CN）
褥瘡対策ケア基礎編	5/16 5/23 5/30 6/13	新人看護職員	90	2時間	褥瘡に関する診療報酬の要件を知り、全入院患者を対象に実施する褥瘡リスクアセスメントの実施が出来、基本的な褥瘡予防ケアがわかる 講師：看護師（皮膚排泄ケアCN）、理学療法士
BLS①研修	6/1 6/13 6/16 6/26 6/30	新人看護職員	89	1時間	新人看護職員として心配蘇生を習得し、患者急変時の対応がイメージできる 講師：看護師長（救急看護CN、集中ケアCN）、看護師（集中ケアCN、家族支援CNS）
看護と安全Ⅰ	2/7 2/16	CDP2	47	半日	1. 看護に必要な医療安全の基礎を学び、実践に活かす 2. インシデント発生時の対応、再発予防策を学ぶ 講師：安全管理担当師長
看護と安全Ⅱ	8/10	CDP3	33	半日	インシデント発生時の対処方法を学び、安全対策において推進的な役割を担い、リーダーシップを発揮できる 講師：安全管理担当師長
フィジカルアセスメントⅡパート①	6/16 6/26	CDP2	47	半日	1. フィジカルアセスメントの理解を深め、3つの視点（呼吸状態・循環動態・意識状態）を用いて、根拠に基づいた患者の情報アセスメント出来る 2. アセスメントした情報を看護に繋げる事が出来る 講師：救急部医師、看護師（教育委員、集中ケアCN）
フィジカルアセスメントⅡパート②	9/15 9/21	CDP2	46	半日	
フィジカルアセスメントⅡパート③	12/15 12/21	CDP2	45	半日	

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
BLS②研修～ベッドサイドの急変時のケアから～	9/15 9/21	CDP2～	46	半日	ベッドサイドの急変対応がイメージでき、根拠に基づいた行動がとれる 講師：看護師長（救急看護CN、集中ケアCN）、教育委員
急変シミュレーション（初級編）	10/4	CDP2～	20	半日	1. 急変時におけるメンバーの役割を理解役割りがわかり、行動出来る 2. 急変時における小児（乳幼児）と成人の違いを理解し、正しい一時救命処置を実施出来る 講師：看護師長（集中ケアCN）、看護師（集中ケアCN、小児集中ケアCN）
フィジカルアセスメントⅢ（急変予兆）	7/13	CDP3～	11	半日	急変を未然に防ぐための患者の状態変化に気付く事ができ、迅速な対応が出来る 講師：看護師長（救急看護CN）、担当看護師（集中ケアCN）、教育委員
フィジカルアセスメントⅣ（臨床推論）	1/18	CDP3～	15	半日	臨床推論を学び、日々の看護アセスメントの方法として活用できる 講師：看護師長（集中ケアCN）
急変シミュレーション（上級編）	10/11	CDP3～	21	半日	急変時のリーダーシップ役割と行動が理解でき、指導的役割が取れる 講師：看護師長（救急看護CN、集中ケアCN）、看護師（集中ケアCN、家族支援CNS）、教育委員
災害看護	9/6	CDP2～	21	半日	地域医療における災害時の基本的な役割がわかる 講師：看護師長（救急看護CN）
呼吸不全患者の看護	12/22	CDP～	16	半日	呼吸管理の基本的知識・技術を学び、呼吸不全患者の看護に必要な具体的なケアを実践できる 講師：看護師（集中ケアCN）、看護師長（集中ケアCN）、理学療法士
災害看護-Basic-	5/30 10/27	看護師長	7	1時間	災害拠点病院における災害時の対応について、夜間・休日の災害対応の流れがわかる 講師：看護師長（救急看護CN）
災害看護-Advance-	7/28 11/17	看護師長	21	1時間	
医療KYT研修	9/27	CDP3～	31	2時間	部署での危険予知活動の推進役を担う事ができる 講師：安全管理担当師長、安全管理担当看護師
静脈注射（血管確保）研修	9/22 9/29	CDP1～	95	半日	1. 静脈注射を安全に実施するための知識・技術を習得する 2. 末梢静脈留置針を用いた血管確保の方法を習得する 講師：救急部医師、業務・医療情報担当副部長、安全管理担当師長、看護師長（感染管理CN）、薬剤師
CVC管理研修	10/27 10/30	CDP1～	105	半日	中心静脈栄養カテーテル管理の基本的知識・技術を習得する 講師：看護師長（感染管理CN）、看護師長（集中ケアCN）
放射線部新採用職員医療安全研修	4/6	放射線技師	4人	1時間30分	患者確認方法、インシデント、ドクターコール、職場改善情報等の運用されている取り組み 講師：放射線技師
放射線安全取扱講習【密封小線源】	6/8	放射線技師 医師	21人	1時間	密封小線源治療に従事する職員向けの教育研修 講師：医師
放射線安全取扱講習【核医学】	6/12	放射線技師 医師、看護師	18人	1時間	核医学診療に従事する職員向けの教育研修 講師：医師、他
放射線安全取扱講習【新規】	6/13	放射線技師 医師、看護師	23人	1時間30分	新規に放射線取扱業務に従事する職員向けの教育研修 講師：医師
放射線安全取扱講習【放射線治療】	6/15	放射線技師 医師、看護師	20人	1時間	放射線治療に従事する職員向けの教育研修 講師：放射線技師
安全使用のための医療機器研修	12/21	放射線技師 医師、看護師	16人	1時間30分	放射線治療装置2台、診療用放射線照射装置の取扱研修 講師：放射線技師
安全使用のための医療機器研修	12/22	放射線技師 医師、薬剤師	10人	1時間30分	PET核種製造用サイクロトロン of 取扱研修 講師：放射線技師

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
機器導入時研修 【透視装置】	12/20 12/22 12/25 12/26 12/27	放射線技師	32人	30分	新規導入機器の安全に関する取扱い 講師：放射線技師
ドクターコール 説明会	5/9	放射線技師 看護師	50人	15分	ドクターコール、部内コールの説明 講師：放射線技師
危険予知 トレーニング	6/26 6/30 9/11 9/15	放射線技師	15人	1時間	患者確認に関する危険予知トレーニング 講師：放射線技師

センター病院

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新任医師 オリエンテーション	4/3	新任医師	106名	1.5時間	知っておきたい病院の基本、診療録・医療情報、急患対応、院内の情報伝達、安全管理、感染対策、手術部・麻酔科、施設利用について等 講師：病院長、呼吸器病センター部長、診療情報管理担当係長、安全管理指導者、システム担当係長、麻酔科部長、感染制御部長、感染制御担当係長
臨床研修医 オリエンテーション	4/3	2年次 研修医	36名	2.5時間	感染対策、安全管理、健康管理、中心静脈穿刺講習 講師：安全管理指導者、感染制御部医師、CVCプロジェクトリーダー
臨床研修医 オリエンテーション	4/3~10	1年次 研修医	各34名	全日	講義：知っておきたい病院の基本、研修医としての心がけ、医療倫理、診療におけるコミュニケーション、安全管理、健康管理、院内救急対応・災害医療、感染対策、災害対策、麻薬・処方箋・持参薬の取り扱いについて、医療面接について、チーム医療 実習：医療安全・感染対策、基礎実技（導尿、採血、医療機器）、BLS等 講師：安全管理指導者、血液浄化療法部長、緩和ケア部長、精神医療センター部長、高度救命救急センター担当部長、精神医療センター医師、泌尿器・腎移植科医師、集中治療部長、血液浄化療法部医師、感染制御部長、安全管理担当係長、感染制御担当係長、臨床工学担当係長、臨床検査部係長、看護部、薬剤部ほか
除細動器取扱研修（前期）	4/4 4/5 4/12 8/2	看護師 研修医	63名	各1時間	除細動器の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士
新採用看護職員研修 オリエンテーション	4/5~6	新採用 看護職員	各118名	2日間	看護部組織、理念、勤務体制、倫理、接遇、個人情報管理、教育プログラム、組織における役割・心構えと行動について、業務管理、防災・災害管理、安全管理、感染管理、情報管理 講師：看護部長、統括副看護部長、教育・実習担当看護部長、業務担当副看護部長、病棟担当副看護部長、総合周産期担当副看護部長、外来調整・地域連携担当副看護部長、高度救命救急センター担当副看護部長、教育・実習担当看護部長、業務担当看護部長、安全管理担当、感染制御担当看護部長、他看護部長
新採用職員研修	①4/5~7 ②5/1~2,8	診療放射線技師 (新採用職員、 嘱託職員)	7名	3日×2回	・放射線部のクレドについて ・病院・放射線部門の概要について ・個人情報管理について ・放射線の安全管理について ・患者接遇体験講師 ・医療人としての心得講師 ・感染対策について・手洗い実習講師 講師：放射線部技師長、放射線部担当係長、 診療放射線技師2名、感染制御担当係長
平成29年度《新任者用》 放射線業務（診療）従事者講習会	4/5~6	診療放射線技師 (新採用職員、 転入職員)	7名	3.3時間	1. 放射線の人体への影響 2. 放射線の安全取扱い 3. 放射線障害防止に関する法令・規程とTopics 4. X線被ばく防止のポイント 講師：放射線取扱主任者
人工呼吸器取扱研修（前期）	4/6 4/27 5/30 6/20 6/23 6/26 9/25	医師 看護師 研修医	187名	各1時間	人工呼吸器の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士 他
中心静脈カテーテル挿入・留置講習会	4/7 4/12 4/13 4/18 4/20 6/6 10/5	医師 研修医	150名 (医師80名、 研修医70名)	各1.5時間	目的・適応、穿刺方法、合併症、薬剤、登録制度等についての講義、実技演習 講師：中心静脈カテーテル挿入・留置プロジェクトメンバー
新採用者 看護技術研修 「BLS」	4/10	新採用 看護職員	118名	2時間 × 3回	BLSとAED使用方法の講義と実技演習 講師：救命救急センター医師、救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、新生児集中ケア認定看護師、小児救急看護認定看護師、 ほか院内BLSインストラクター5名
新採用者 看護技術研修 「電子カルテ操作」	4/10	新採用 看護職員	118名	2時間 × 3回	基本的な電子カルテの使用方法を理解し、実践につなげる 講師：業者
新採用者 看護技術研修 「IC機器」	4/11	新採用 看護職員	118名	2時間 × 3回	輸液ポンプ・シリンジポンプの原理、使用方法、注意点・観察事項と酸素ボンベの取り扱い、 看護技術手順に基づく技術について演習を通して学ぶ。 講師：臨床工学技士
新採用者 看護技術研修 ①メンタルヘルス ②セルフマネジメント ③パートナーシップマインド	4/11	新採用 看護職員	118名	①2時間 ②4時間 ③5.5時間 × 3回	①自己に起こりうる変化について知り、対処行動につなげる 講師：精神看護専門看護師 ②社会人として働く為のセルフマネジメント 講師：外部講師（他病院医師） ③パートナーシップマインドを理解する 講師：業務担当係長

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新採用者看護職員研修 コミュニケーション ～プロとしてのはじめの コミュニケーション～	4/12～14	新採用 看護職員	4/14：47名 4/13：47名 4/14：24名	各6時間	仕事をしていく上で必要となる周囲の人達との関わり方、 コミュニケーションエラーを防ぐ受け取り方、聴き方、伝え方、 表現の仕方を講義・グループワークを通して学ぶ。 講師：外部講師
補助循環装置取扱研修	4/13 5/18 7/11 9/13～14 9/20 12/18	医師 看護師 研修医	81名	各1時間	補助循環装置の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士 他
本館4階 X線CT装置の安全な取り扱いと 主な機能の説明会（導入時研修）	4/13 4/21 4/24	診療放射線技師	57名	各1.5時間	1.導入時のコンセプト（ユーザー） 講師：診療放射線技師 2.安全な利用と取り扱い ① X線CT装置 講師：該当メーカー担当者 ② インジェクター 講師：該当メーカー担当者
手術室関連機器取扱研修（前期）	4/18～20 5/10 6/23 7/12 7/18	看護師 麻酔科医師 臨床工学技士	55名	各1時間	手術室関連機器の取り扱い方法について 講師：該当メーカー担当者、臨床工学技士
呼吸療法機器取扱研修	4/20	臨床工学技士	11名	1時間	アイノフローDSの取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士
不整脈デバイス取扱研修	5/9	臨床工学技士	15名	0.5時間	不整脈検査機器の取り扱い方法について 講師：該当メーカー担当者
新採用職員ステップアップ研修 ①	5/12	診療放射線技師 （新採用職員、 嘱託職員）	9名	1時間	実習 ・患者移乗動作研修 講師：リハビリテーション部
移乗介助講習会	5/12	放射線部職員	8名	0.5時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義、実習を交えて講習。 講師：理学療法士
心肺蘇生講習会 （医療職向け）（前期）	5/18 7/20 9/21	医師 研修医 看護師 他医療職	77名	各1.5時間	人形を用い、心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方）を学ぶ 講師：高度救命救急センター医師
地域連携研修会 感染症フォーラム	5/24	全職員	64名 （院内44名 院外20名）	1.5時間	「抗菌薬はじめの一歩2017」 講師：外部講師（国立大学医学部教授）
移乗介助講習会	5/24～25 6/1	研修医	32名	1時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義、実習を交えて講習。 講師：理学療法士3名
ICT講習会	5/26	医師 看護師 コメディカル	33名	1時間	「血液培養採取の全て」 講師：感染制御部医師
新人採用者 看護技術研修 「静脈採血」	5/26 5/29	新採用 看護職員	5/26:57名 5/29：60名	各3時間	静脈採血技術を理解し、経験することができる。 講師：教育・実習担当部長、教育委員
ICT講習会	5/29～30 6/5～7	医師 看護師 コメディカル	362名	各1.5時間	N95マスクフィットテスト研修 講師：感染制御担当部長 研修協力：業者
急変予兆	6/2 7/6 8/3 9/5	2年目 看護職員	6/2:16名 7/6：16名 8/3:13名 9/5:13名	各2.5時間	急変予兆の概念を理解し、呼吸・循環・意識に関するフィジカルアセスメントを 習得する。 アセスメントに基づいた急変予兆の発見と報告を演習で体験する。 講師：救急看護認定看護師3名、集中ケア認定看護師、 新生児ケア認定看護師、小児救急看護認定看護師
急変予兆	6/2 7/6 8/3 9/5 12/7	2年目 看護職員	71名	各3時間	急変予兆の概念を理解し、 呼吸・循環・意識に関するフィジカルアセスメントを習得する。 アセスメントに基づいた急変予兆の発見と報告を演習で体験する。 講師：救急看護認定看護師 集中ケア認定看護師 新生児ケア認定看護師 小児救急看護認定看護師

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新採用職員研修	6/2	診療放射線技師 (新採用嘱託職員)	3名	1日	<ul style="list-style-type: none"> 放射線部のクレドについて 病院・放射線部門の概要について 個人情報管理について 放射線部の安全管理について 患者接遇体験 医療人としての心得 講師：放射線部技師長、放射線部担当係長、診療放射線技師2名
新採用職員ステップアップ研修 ②	6/7 7/25	診療放射線技師 (新採用職員)	11名	各2時間	<ul style="list-style-type: none"> 病院情報システムの使い方 放射線部門システムの使い方 医療端末実習 講師：診療放射線技師
看護技術研修 CV管理の指導者 「講義・演習・テスト」	6/8 7/5 7/19 7/26	院内 看護職員	121名	各1.5時間	CVC管理の原理原則を踏まえた上で安全な看護技術を習得し、部署で役割モデルを発揮する。 講師：教育委員会担当師長、業務委員会担当師長、感染委員会担当師長、安全委員会担当師長
救急棟地下2階 MR装置の安全な取り扱いと 主な機能の説明会（導入時研修）	6/9 6/15 6/16 6/20	診療放射線技師	57名	各1.5時間	1. 導入時のコンセプト（ユーザー） 講師：診療放射線技師 2. 安全な利用と取り扱い ①MR装置 ②インジェクター ③カブノストリーム ④生体監視モニタ ⑤医用画像解析WS ⑥金属探知ゲート 講師：該当メーカー担当者
平成29年度《第1回目》 放射線業務（診療）従事者講習会	6/13	放射線業務〈診療〉従事職員 (ガラスバッジ装着職員)	98名	2時間	1. 放射線の人体への影響 2. 放射線の安全取扱いⅠ（診断領域の基礎知識） 3. 放射線の安全取扱いⅡ（RIを用いた検査と治療について） 4. 血液製剤への放射線照射について 5. 放射線治療装置の安全な取扱い 5. 放射線障害予防に関する法令・規則 講師：放射線取扱主任者、診療放射線技師担当者、輸血部担当係長
心肺蘇生講習会 (非医療職向け)（前期）	6/15	医療職以外の職員	20名	1.5時間	人形を用い、心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方）を学ぶ。 講師：高度救命救急センター医師
移乗介助講習会	6/22 6/28	全職員	30名	1時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義、実習を交えて講習。 講師：理学療法士
新人採用者 フォローアップ～2ヶ月後	6/23 6/29	新採用 看護職員	6/23：53名 6/29：55名	各3時間	自分のストレスに気づき、ストレスマネジメントに取り組む姿勢が持てる。 講師：精神看護専門看護師
TeamSTEPPS研修会	6/26 7/20 11/29	全職員	71名	各1.5時間	コミュニケーションエラーを防ぎ、チームワークを高めるための講義と演習 講師：安全管理指導者
生体情報モニター取扱研修	6/26 6/28	看護師	14名	各1時間	生体情報モニターの取り扱い方法について 講師：該当メーカー担当者
がん化学療法看護 CVポート穿刺看護師育成研修	6/28 1/17	院内 看護職員	33名	各1.5時間	癌化学療法に必要な基礎知識・技術として「CVポートの穿刺方法・管理方法」について習得する 講師：消化器病センター外科医師、がん化学療法看護認定看護師
研修医向け MR装置磁場体験	6/28 7/6 7/13	初期研修医 看護師 診療放射線技師	24名	各1時間	1. 講義：「MRI装置の磁場と磁場の危険性」 2. 金属持込体験：「MRI検査室でハサミが飛ぶ」 講師：診療放射線技師2名
薬剤部内 安全管理研修	7/7	薬剤部職員	28名	0.3時間	ハイリスク薬について 講師：薬剤部担当者
看護職員研修 呼吸ケアシリーズ	①7/12 9/13 ②10/30 1/19	院内 看護職員	45名	各1.5時間	人工呼吸管理及びケアに必要な基本的な知識を習得し、実践に役立てる（2回×2） 1回目フィジカルアセスメントに必要な解剖生理の基本とフィジカルアセスメントの実際 講師：急性重症患者看護専門看護師 2回目一般病棟における人工呼吸器ケア 講師：救急看護認定看護師

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新人採用者 看護技術研修 「統合演習」	7/20 7/27	新採用 看護職員	7/20：55名 7/27：50名	各3時間	ベットサイドで、患者に生活且つ安全な看護技術を提供できる。 講師：教育・実習担当部長、教育委員
新採用職員ステップアップ研修 ③	7/26 8/23 (ビデオ受 講)	診療放射線技師 (新採用職員)	11名	各1時間	講義 ・ICU医師から学ぶ！ポータブルで遭遇する ドレーン/カテーテル類・補助循環装置 講師：高度救命救急センター医師
地域連携研修会 感染症フォーラム	7/26	全職員	44名 (院内19名 院外25名)	1.5時間	「感染症診療のロジック」 講師：外部講師（他病院感染症医師）
新生児蘇生法 専門コース	7/29 1/27	院内看護職員 外部職員	27名	各1日	新生児に対する心肺蘇生法に関する講義・演習アルゴリズムに沿った新生児の蘇生を理解し、シュミレーションを実施できる 講師：新生児集中ケア認定看護師、NICU看護師、9-2病棟助産師、新生児科医師
BLS講習会 インストラクターフォローアップ	8/30 11/30	院内 看護職員	9名	各1時間	院内BLSインストラクターとしての知識・技術の維持、向上を図り、適切な指導を実施するためのシュミレーション学習 講師：小児救急看護認定看護師、救急看護認定看護師
一般撮影室 接遇検討ロールプレイング「胸部撮影」	9/12 9/13 9/19	診療放射線技師	17名	各1時間	胸部撮影でのロールプレイング（技師役・患者役）とディスカッションを通じ、接遇と安全な患者対応について問題点と改善点を検討する。 講師：診療放射線技師
中心静脈カテーテル挿入・留置講習会 (アドバンスドコース)	9/20 12/18 1/15 2/14	医師 研修医	26名	各1.5時間	リアルタイムエコーガイド下でのCV留置についての実技講習と注意点説明 講師：中心静脈カテーテル挿入・留置プロジェクトメンバー
平成29年度第1回 医療安全講演会	9/22	全職員	91名	1.5時間	「Rapid Response System導入について」 講師：外部講師（他病院医師・看護師）
新採用看護職員研修 看護技術：経管栄養・口腔ケア (フォローアップ～半年後～)	9/22 9/28	新採用 看護職員	9/22：56名 9/28：51名	各3時間	経管栄養管理に必要な知識・技術を理解出来る。 口腔ケアの手法を理解し、経験することが出来る。 職員・医療チームの一員として責任ある行動・実践につなげる。 講師：精神看護専門看護師、NSTディレクターナース
新採用フォローアップ研修 ～半年後～	9/22 9/28	新採用 看護職員	105名	各3時間	ストレスマネジメントについて理解する。研修受講を通して、今後の自己のあり方、具体的行動を想起し記述する。 講師：教育・実習担当部長、精神看護専門看護師
当院で発生した 放射線治療誤照射の概要と対策	9/25	診療放射線技師	7名	1時間	1. 誤照射事故の発生原因 2. 事故後の対策と取り組み 講師：診療放射線技師
新採用職員ステップアップ研修 ④	9/26	診療放射線技師 (新採用職員)	9名	1時間	講義 ・スペシャリストから学ぶ！看護師編 ～看護師の仕事とチーム医療～ 講師：救急看護認定看護師
救急棟一般撮影・病棟撮影・FPD装置の 安全な取り扱いと主な機能の説明会 (導入時研修)	9/27	診療放射線技師	37名	1.5時間	1. 導入時のコンセプト（ユーザー） 講師：診療放射線技師 2. 安全な利用と取り扱い ① FPD装置、画像処理ユニット、移動型X線撮影装置 講師：該当メーカー担当者 ② 立位撮影台、汎用型万能握り棒、カセットDR ホルダースタンド 講師：該当メーカー担当者
地域連携研修会 感染症フォーラム	9/27	全職員	26名 (院内10名 院外16名)	1.5時間	「症例から学ぶ感染症診療」 講師：外部講師（国公立大学医学部教授）
人工呼吸器取扱研修（後期）	10/2 10/5～6 10/11～13 2/16 2/22 3/9	看護師 医師	89名	各1時間	人工呼吸器の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士 他
リーダーナースの急変予兆・ACLS	10/5 1/10	院内 看護職員	25名	各1日	急変予兆に気づくことができ、リーダー役割として対応できる。 講義、シュミレーション 講師：救急看護認定看護師、小児救急認定看護師、 集中ケア認定看護師、新生児集中ケア認定看護師
安全管理・CVC研修	10/6 10/27	新採用 看護職員	100名	各3時間	医薬品について正しい知識やリスクを理解する。 医療安全管理について再確認し、自己の課題を認知する。 安全な看護技術の習得：CVCカテーテルの取り扱いに関する基礎知識 講師：薬剤部担当係長、安全管理担当看護師長

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
平成29年度《第1回》 放射線関連装置の医療機器安全取扱研修	10/6	診療放射線技師、 放射線部医師、 放射線科医師、 初察室・放射線部・内視鏡室看護師	47名	2時間	1. 医療機器の安全確保について 講師：装置備品管理委員長 2. 医療機器（超音波診断装置）を安全に取り扱うために 講師：臨床検査技師 3. リニアック装置・RALS装置の安全取扱い 講師：放射線治療担当 4. 医療機器の公正競争規約及び立会に関する基準について 講師：装置備品管理委員会顧問
手術室関連機器取扱研修（後期）	10/11 10/18 10/25 2/5	看護師	57名	各1時間	手術室関連機器の取り扱い方法について 講師：該当メーカー担当者、臨床工学技士
看護技術：胸腔ドレーン管理	10/12 11/9	院内 看護職員	45名	各1時間	胸腔ドレーンの原理やリスクを理解し、安全な看護実践へつなげる。講義・演習 講師：急性・重症患者看護専門看護師、教育・実習担当師長
心肺蘇生講習会 （非医療職向け）（後期）	10/19 2/15	医療職以外の職員	9名	各1.5時間	人形を用い、心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方）を学ぶ 講師：高度救命救急センター医師
一般撮影室 接遇検討ロールプレイング「骨撮影」	10/24 11/6 11/17	診療放射線技師	14名	各1時間	骨撮影でのロールプレイング（技師役・患者役）とディスカッションを通じ、 接遇と安全な患者対応について問題点と改善点を検討する。 講師：診療放射線技師
血管確保指導者研修	10/25	院内 看護職員	25名	1時間	血管確保に関する技術指導者として、 原理原則、リスクを理解し安全に実施できる看護師を育成するための基礎知識を 習得する。 講師：業務委員会担当師長
全国で発生した 放射線治療誤照射の概要と教訓	10/30	診療放射線技師	7名	1.5時間	1. 全国で発生した誤照射事故の概要について 2. 当院での対策と取り組み 講師：診療放射線技師 2名
血管確保研修（ブラッシュアップ）	11月～2月	院内 看護職員	626名	各1時間	血管確保に関する原理原則、リスクを理解し安全に実施するための基礎知識を習 得する。 講師：各部署の血管確保指導者研修修了者
医療安全安全な医療の提供（確認行為）	11/2	看護助手	55名	0.75時間	看護助手業務における確認行為について、ロールプレイングを通して理解する 講師：看護助手担当師長 アドバイザー：安全管理担当看護師長
心肺蘇生講習会 （医療職向け）（後期）	11/16 1/18 3/15	医師 研修医 看護師 他医療職	67名	各1.5時間	人形を用い、心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方）を学ぶ 講師：高度救命救急センター医師
看護技術：静脈穿刺	11/20 11/29	新採用 看護職員	109名	各3時間	基本的知識の講義、当院「看護職による静脈注射・末梢静脈路確保（血管確保）実 施に関するガイドライン」を理解する。 シミュレーターでの実技演習 講師：教育・実習担当師長、教育委員
地域連携研修会 感染症フォーラム	11/22	全職員	43名 （院内30名、 院外13名）	1.5時間	「CDCガイドラインと感染対策の疑問」 講師：外部講師（他病院感染症医師）
平成29年度《第2回目》 放射線業務（診療）従事者講習会	11/28	放射線業務〈診 療〉従事職員 （ガラスバッジ 装着職員）	115名	2時間	1. 放射線の人体への影響～知っておきたい放射線被ばくの知識～ 2. 放射線の安全取扱いⅠ～診断領域の基礎知識～ 3. 放射線の安全取扱いⅡ～R1の検査と治療及び医薬品管理について～ 4. 血液照射装置・放射線治療装置の安全な取扱い 5. 放射線障害予防に関する法令・規則～H29法令改正の概要～ 講師：診療放射線技師5名
不整脈デバイス取扱研修（医療者向け）	12/1 12/7 12/12 12/18 12/22 12/25	看護師 放射線技師 臨床工学技士	76名	各1時間	不整脈治療機器（ペースメーカー、ICD他）の取り扱い方法について 講師：該当メーカー担当者、臨床工学技士
臥位ブッキータンにおける 安全な患者引き起こし介助訓練	12/4	診療放射線技師 （一般撮影室担 当）	10名	1時間	1. 安全な患者引き起こし方法と注意点の解説 2. 臥位ブッキータンを用いた介助訓練 講師：理学療法士4名（リハビリテーション部）
尿道留置カテーテル	12/8 12/18	新採用看護職員 ・希望する2年目 看護師	104名	各3時間	膀胱留置カテーテルの技術を理解し経験することができる。 感染管理について理解する。 2年目看護師として（希望者のみ）経験の少ない技術・知識として 尿道留置カテーテルの挿入・管理方法を習得する。 講師：業者
生体情報モニター取扱い研修	12/11 12/14～15	看護師 臨床工学技士	20名	各1時間	生体情報モニターの取り扱い方法について 講師：該当メーカー担当者、臨床工学技士
人工心肺装置取扱研修	12/15 12/22 2/22	看護師 臨床工学技士	23名	各1時間	人工心肺装置の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士
院内職員向け MR装置磁場体験	12/19 12/26 1/10	センター病院で 働く全職員	19名	各1時間	1. 講義：「MRI装置の磁場と磁場の危険性」 2. 金属持込体験：「MRI検査室でハサミが飛ぶ」 講師：診療放射線技師2名

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
除細動器取扱研修（後期）	12/28	看護師	10名	1時間	除細動器の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士
感染リンクナース委員会勉強会	1/10	リンクナース	30名	0.75時間	「多剤耐性菌と感染対策」 講師：感染症看護専門看護師
CT検査室 システムダウン時シミュレーション訓練	1/17	診療放射線技師	9名	1時間	1. RISシステムトラブル時のマニュアルを読み合わせ 2. RIS停止時を想定したシミュレーション訓練 3. 問題点の検証
看護助手研修	1/18	看護助手	46名	0.75時間	「吐物処理演習」 講師：感染症看護専門看護師
地域連携研修会 感染症フォーラム	1/24	全職員	48名 (院内22名、 院外26名)	1.5時間	「感染症プラチナマニュアル」 講師：外部講師（他病院感染症医師）
呼吸療法機器取扱研修（医療者向け）	1/26 3/19	看護師 医師	31名	各1時間	アイノフローDSの取り扱いと注意点について 講師：該当メーカー担当者、臨床工学技士
MR検査室 システムダウン時シミュレーション訓練	1/30	診療放射線技師	5名	1時間	1. RISシステムトラブル時のマニュアルを読み合わせ 2. RIS停止時を想定したシミュレーション訓練 3. 問題点の検証
清掃委託研修	1/31	委託職員	50名	0.5時間	「感染対策の基本」 講師：感染制御担当師長
アイソトープ室 システムダウン時シミュレーション訓練	2/7	診療放射線技師	5名	1時間	1. RISシステムトラブル時のマニュアルを読み合わせ 2. RIS停止時を想定したシミュレーション訓練 3. 問題点の検証
新採用職員ステップアップ研修 ⑤	2/8	診療放射線技師 (新採用職員)	11名	1時間	講義 スペシャリストから学ぶ！医師編 ～技師が見逃してはいけない救急所見、だからその画像が必要だ～ 講師：放射線部医師
救急放射線室 システムダウン時シミュレーション訓練	2/14	診療放射線技師	9名	1時間	1. RISシステムトラブル時のマニュアルを読み合わせ 2. RIS停止時を想定したシミュレーション訓練 3. 問題点の検証
一般撮影室 システムダウン時シミュレーション訓練	2/20	診療放射線技師 放射線部受付職員 (ニチイ学館)	11名	1時間	1. RISシステムトラブル時のマニュアルを読み合わせ 2. RIS停止時を想定したシミュレーション訓練 3. 問題点の検証
放射線治療室 システムダウン時シミュレーション訓練	2/21	診療放射線技師	5名	1時間	1. RISシステムトラブル時のマニュアルを読み合わせ 2. RIS停止時を想定したシミュレーション訓練 3. 問題点の検証
血管撮影室 システムダウン時シミュレーション訓練	2/22	診療放射線技師	4名	1時間	1. RISシステムトラブル時のマニュアルを読み合わせ 2. RIS停止時を想定したシミュレーション訓練 3. 問題点の検証
平成29年度第2回 医療安全講演会	2/27	全職員	47名	1時間	「ノンテクニカルスキルと手術安全チェックリスト」 講師：外部講師（附属病院安全管理指導者）
CT15番撮影室患者急変時対応訓練	2/28	診療放射線技師、 救命救急センター医師、 放射線部医師、 初療室・放射線部・ 内視鏡室看護師	20名	1時間	CT15番撮影室でアナフィラキシーショック発症を想定した対応訓練 1. 模擬患者を使用した患者急変時の訓練 2. 訓練中のビデオ閲覧による振り返り（デブリーフィング）
透視検査 システムダウン時シミュレーション訓練	3/1	診療放射線技師	3名	1時間	1. システムダウン時の対応マニュアルの確認。 2. システムダウン時を想定したシミュレーション訓練 3. 問題点の検証
医療安全インシデント事例について	3/1	看護助手	49名	0.75時間	看護助手業務にまつわるインシデントの共有を図り、 医療における安全管理の考え方について理解する 講師：看護助手担当師長
平成29年度《第2回》 放射線関連装置の医療機器安全取扱研修	3/13	診療放射線技師、 放射線部医師、 放射線科医師、 初療室・放射線部・ 内視鏡室看護師	43名	2時間	1. 医療機器の安全確保について 講師：装置備品管理委員長 2. ホルター心電計の安全な取り扱い 講師：臨床検査技士 3. リニアック装置・RALS装置の安全取扱い 講師：放射線治療担当 4. 放射線障害防止法の改正と今後の対応について 講師：装置備品管理委員会顧問
地域連携研修会 感染症フォーラム	3/28	全職員	13名 (院内11名、 院外2名)	1.5時間	「AMRアクションプランと抗菌薬選択のテクニック」 講師：感染制御部部長